

基礎調査・数値分析

(第4次妙高市総合計画)

目次

1. 妙高市を取り巻く現状	1
1-1 人口・世帯数	1
1-2 結婚・出産・子育て	16
1-3 地域産業・雇用	24
1-4 観光産業	35
1-5 コロナ禍による社会変化	42
2. 将来のリスクに関する考察（マイナス面）	43
3. 将来の可能性に関する考察（プラス面）	45

1. 妙高市を取り巻く現状

1-1 人口・世帯数

(1) 人口・世帯数の推移

- 人口減少が加速。特に郊外部の地域で減少幅が大きい。
- 世帯数は緩やかな減少傾向。

[データ解説]

- ・妙高市の人口は、令和2(2020)年時点で30,383人となっており、30年前(平成2(1990)年時点で41,072人)と比較して約4分の3の規模まで減少しています。
- ・世帯数は、平成12年をピークに緩やかな減少傾向が続いており、令和2(2020)年時点で11,306世帯となっています。
- ・地域別人口は、3地域とも減少傾向となっており、30年前(平成2(1990)年)と比較した減少率は、新井地域が約2割、妙高地域と妙高高原地域が約4割となっています。

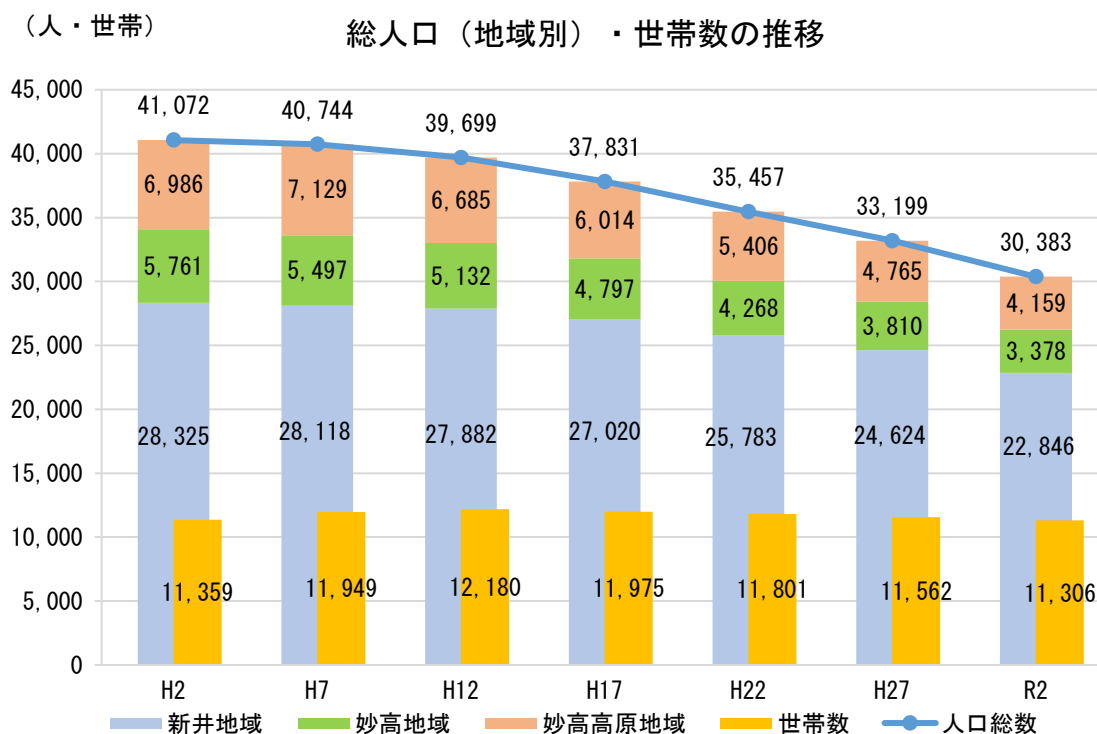


図 総人口(地域別)・世帯数の推移

資料：国勢調査

(2) 年齢階層別人口

●年少人口や生産年齢人口が大幅に減少する一方で、老年人口が大幅に増加。

[データ解説]

- ・妙高市では、少子高齢化が年々進んでおり、令和2(2020)年時点の高齢化率は、37.4%となっています。
- ・15歳未満の年少人口は、令和2(2020)年時点で3,139人となっており、30年前(平成2(1990)年時点で7,389人)と比較して約4割の規模まで減少しています。
- ・15～64歳の生産年齢人口は、令和2(2020)年時点で15,826人となっており、30年前(平成2(1990)年時点で26,442人)と比較して約6割の規模まで減少しています。
- ・65歳以上の老年人口は、令和2(2020)年時点で11,319人となっており、30年前(平成2(1990)年時点で7,241人)と比較して約1.5倍の規模まで増加しています。

年齢3区分別人口と構成比の推移

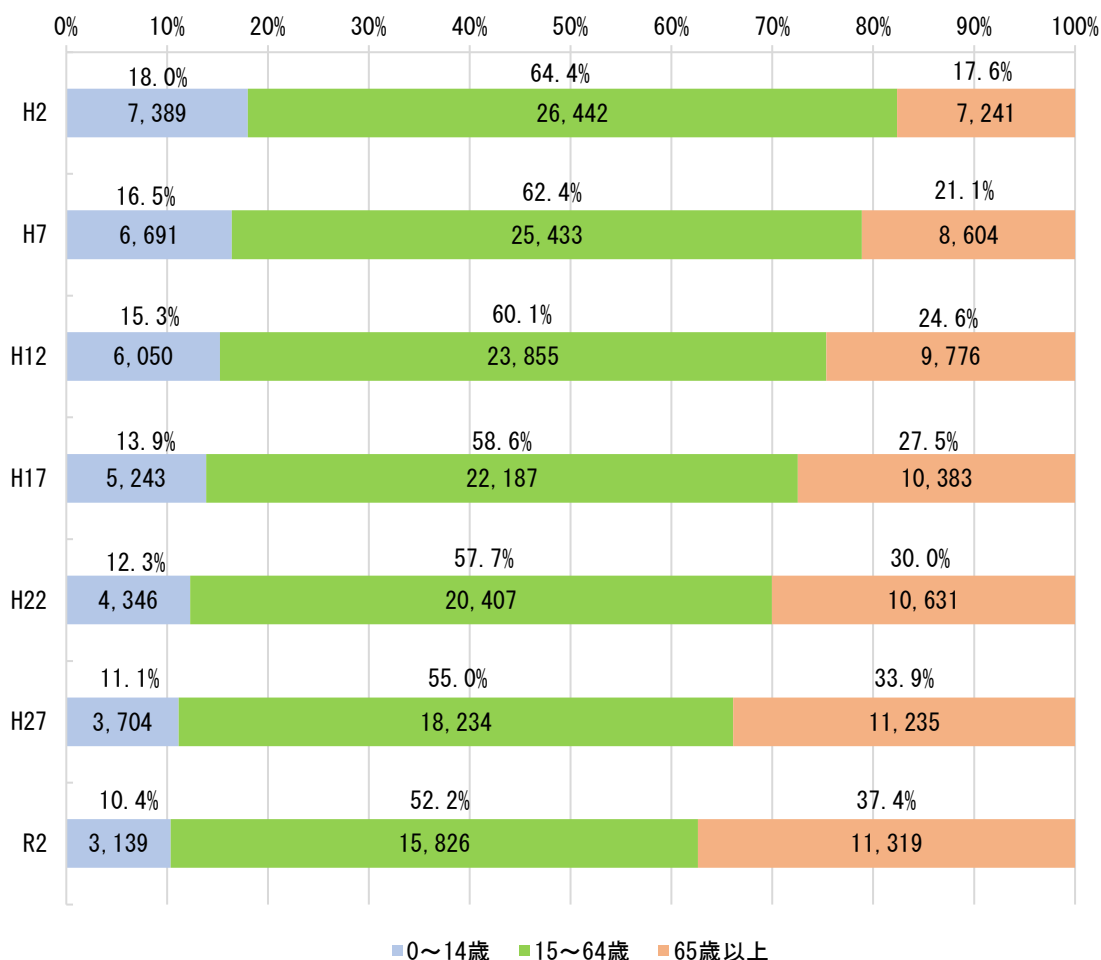


図 年齢3区分別人口と構成比の推移

資料：国勢調査
※年齢不詳を除いて算出

(3) 自然動態・社会動態

●自然減・社会減が継続。特に自然減による減少幅が年々拡大。

[データ解説]

- ・妙高市では、自然減、社会減の傾向が継続しています。
- ・自然動態は、出生数が減少する一方で、死亡数が増加しており、自然減による減少幅が年々拡大しています。
- ・社会動態は、転入・転出ともに数が減少しており、減少幅は横ばい傾向となっています。

年度	自然動態			社会動態			人口増減	
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減		
合併後の推移	H14	322	415	-93	1,287	1,433	-146	-239
	H15	326	411	-85	1,242	1,482	-240	-325
	H16	298	414	-116	1,243	1,466	-223	-339
	H17	269	407	-138	1,174	1,383	-209	-347
	H18	282	416	-134	1,084	1,296	-212	-346
	H19	256	419	-163	896	1,270	-374	-537
	H20	259	459	-200	918	1,201	-283	-483
	H21	251	495	-244	968	1,241	-273	-517
	H22	243	484	-241	900	1,080	-180	-421
	H23	227	463	-236	938	1,056	-118	-354
	H24	225	519	-294	787	1,051	-264	-558
	H25	245	484	-239	838	996	-158	-397
	H26	218	479	-261	765	1,064	-299	-560
	H27	233	507	-274	781	1,065	-284	-558
	H28	209	466	-257	825	1,048	-223	-480
	H29	192	484	-292	761	964	-203	-495
	H30	164	566	-402	839	976	-137	-539
	R1	151	525	-374	919	1,114	-195	-569
	R2	149	542	-393	901	1,059	-158	-551
	R3	144	500	-356	763	961	-198	-554
R4	119	530	-411	748	918	-170	-581	
合併後合計	3,836	8,745	-4,909	15,805	19,743	-3,938	-8,847	
合併後平均	213	486	-273	878	1,097	-219	-492	
過去10年平均	182	508	-326	814	1,017	-203	-528	
過去5年平均	145	533	-387	834	1,006	-172	-559	

図 人口動態の推移

資料：新潟県人口移動調査結果報告により作成

※各年度の人口動態データの対象期間は、前年10月から当年9月までのもの

(4) 年代別の社会動態

●年代別では、15～29 歳にかけての転出超過が顕著。

[データ解説]

- ・年代別では、15～29 歳にかけての転出超過が顕著となっています。

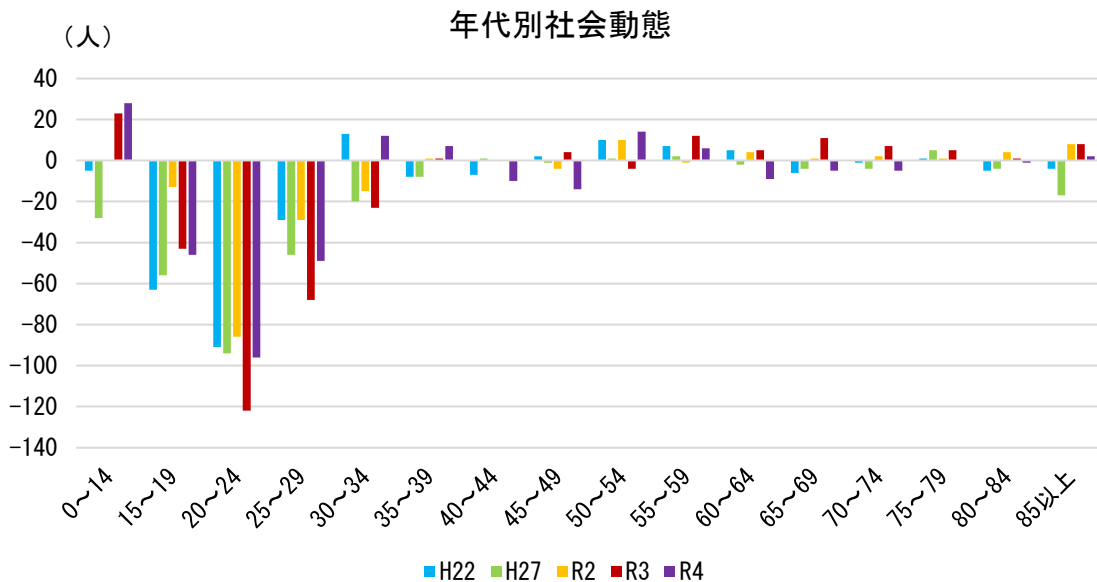


図 年代別社会動態

資料：令和4年 年齢階層理由別移動状況（住民基本台帳人口移動報告（総務省）により作成）

● 転入・転出の理由は、10代は学業や家族、20代は職業が多い。

[データ解説]

・転入・転出の理由としては、10代は学業、20代は職業が多くなっています。

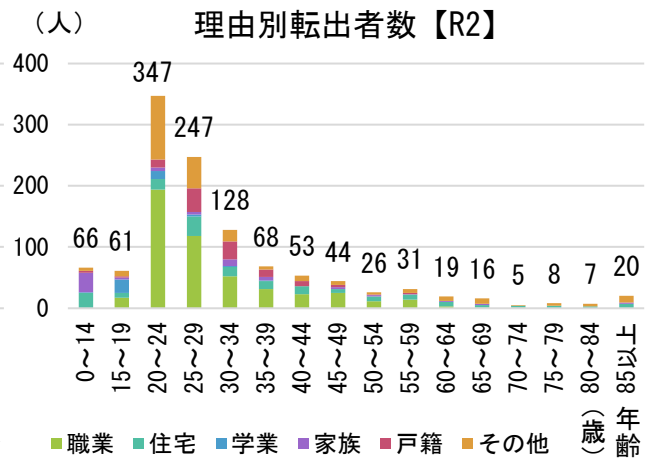
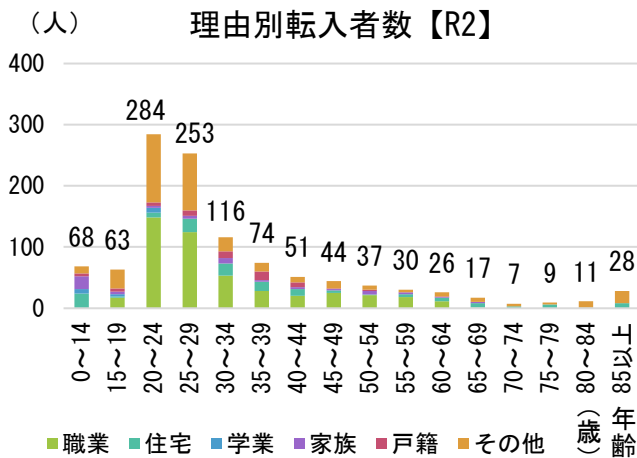
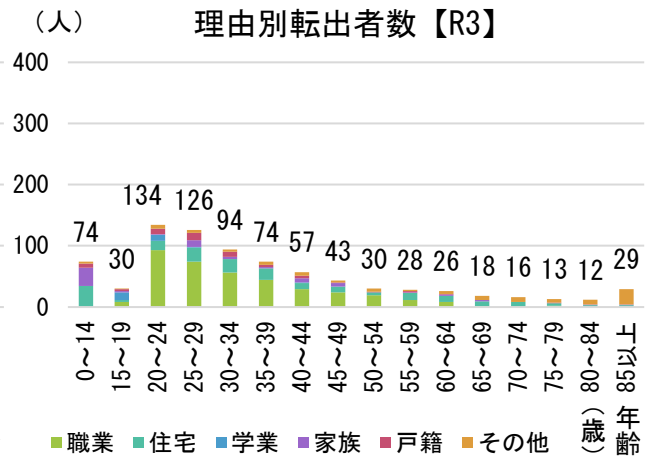
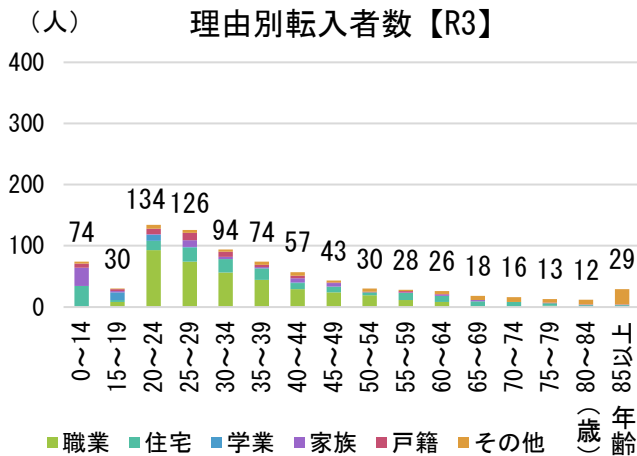
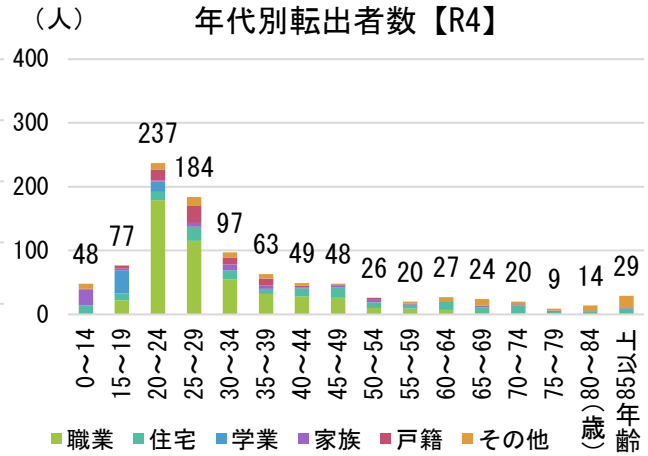
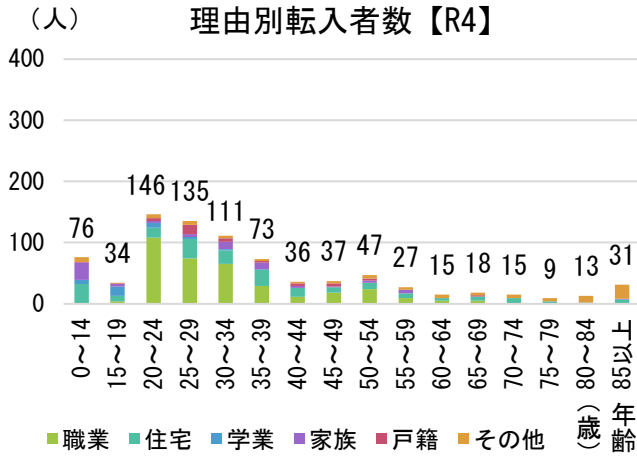


図 転入・転出の理由

資料：年齢階層理由別移動状況（住民基本台帳人口移動報告（総務省）により作成）

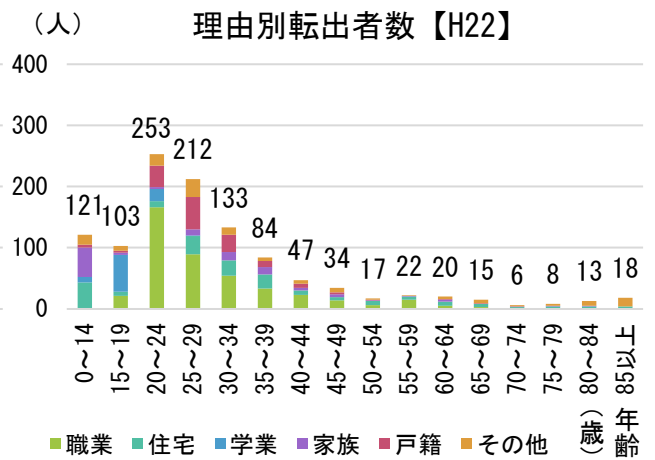
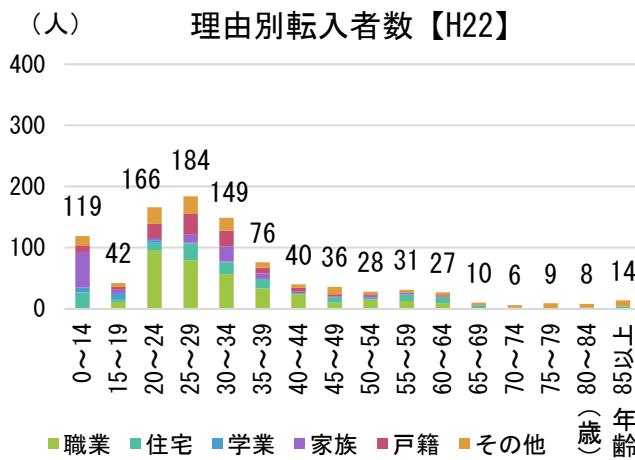
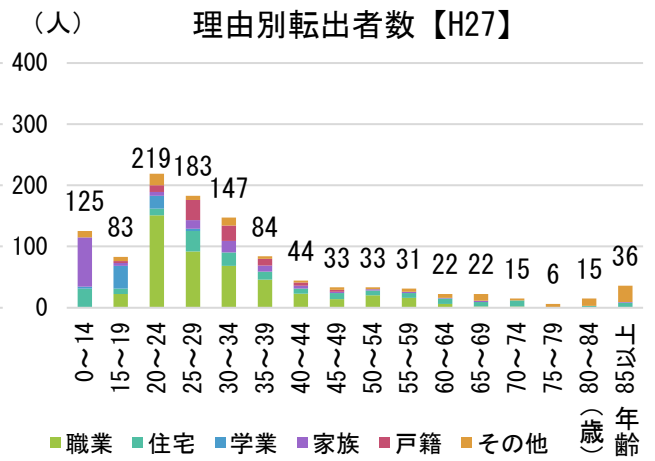
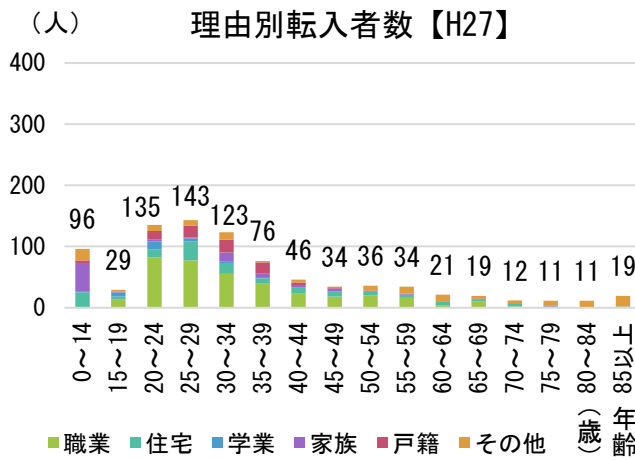


図 年代別転入・転出の理由

資料：年齢階層理由別移動状況（住民基本台帳人口移動報告（総務省）により作成）

●転入元は、新潟県内（上越圏）や関東が多い。

[データ解説]

- ・令和4年の転入者は、新潟県内（約5割）や関東（約2割）が多くなっています。
- ・新潟県内の転入元は、上越圏が多くなっています（令和4年：男性約7割、女性約8割）。

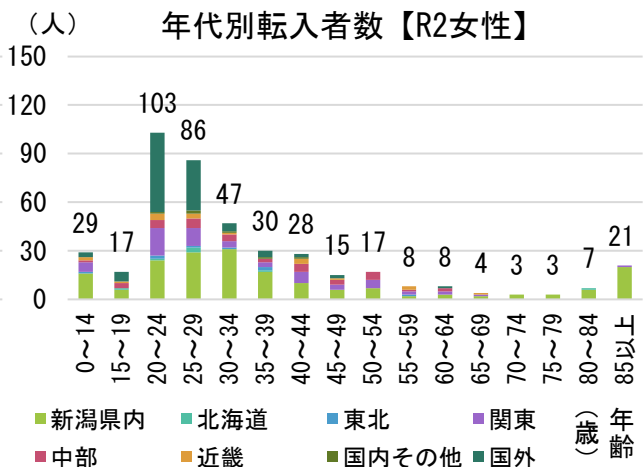
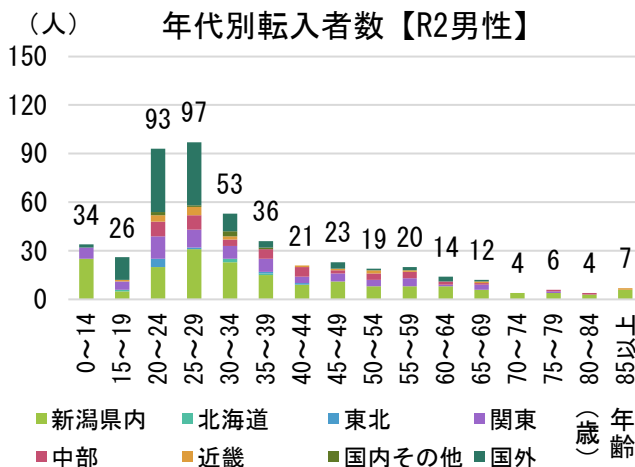
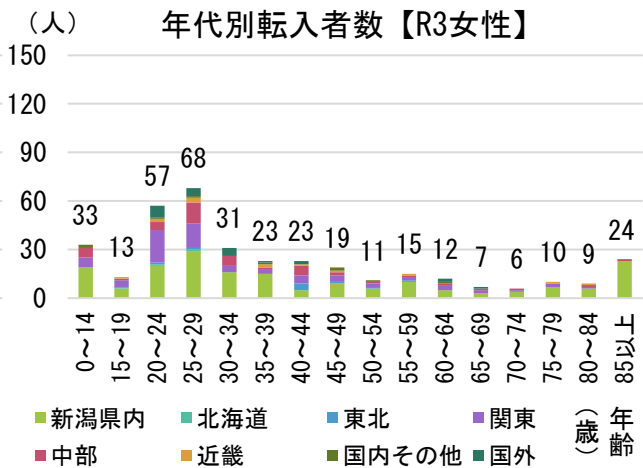
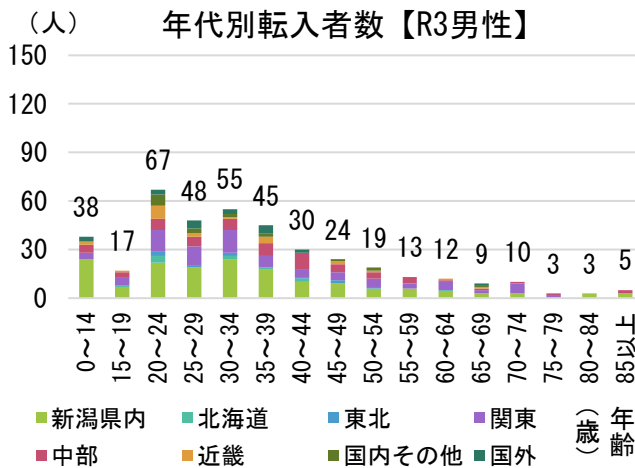
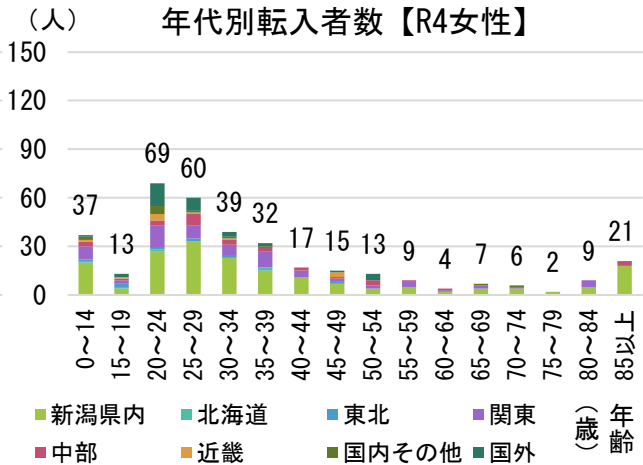
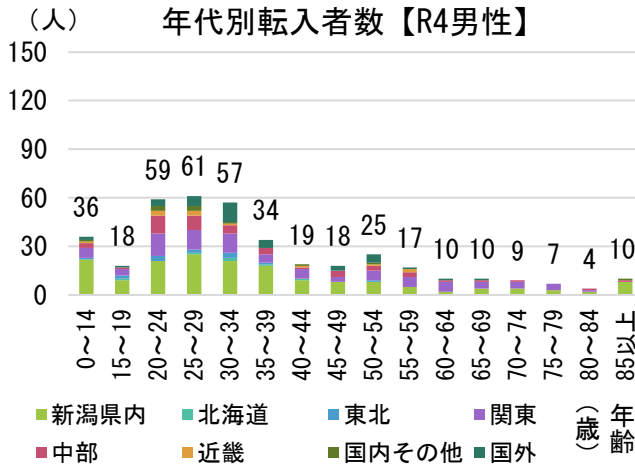


図 年代別転入者数（県内外）

資料：年齢階層理由別移動状況（住民基本台帳人口移動報告（総務省）により作成）

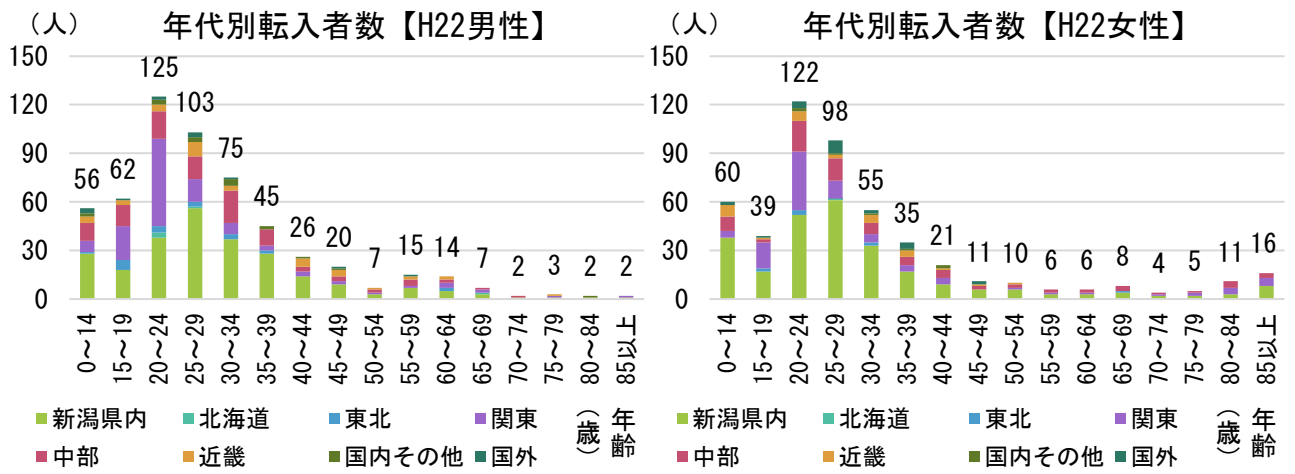
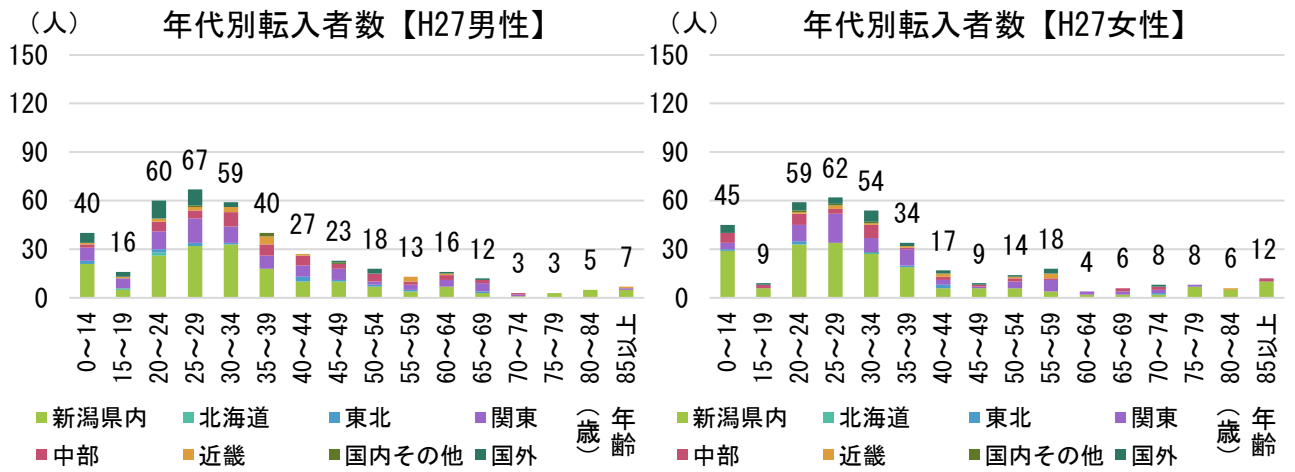


図 年代別転入者数（県内外）

資料：年齢階層理由別移動状況（住民基本台帳人口移動報告（総務省）により作成）

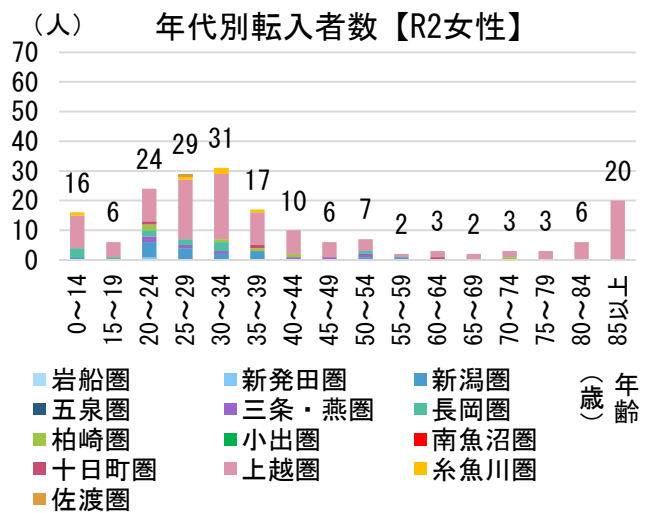
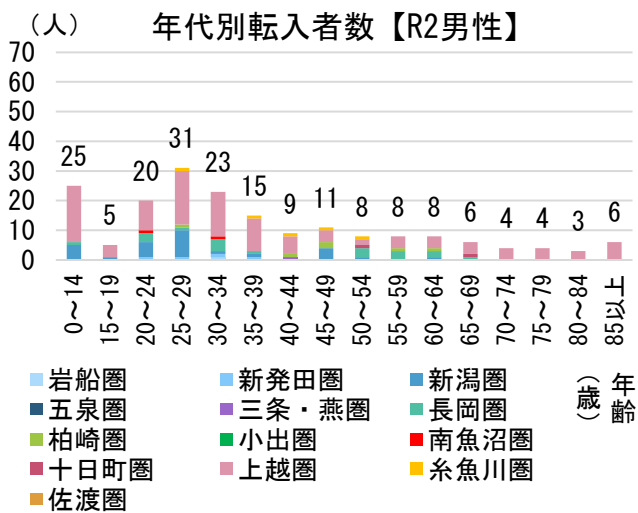
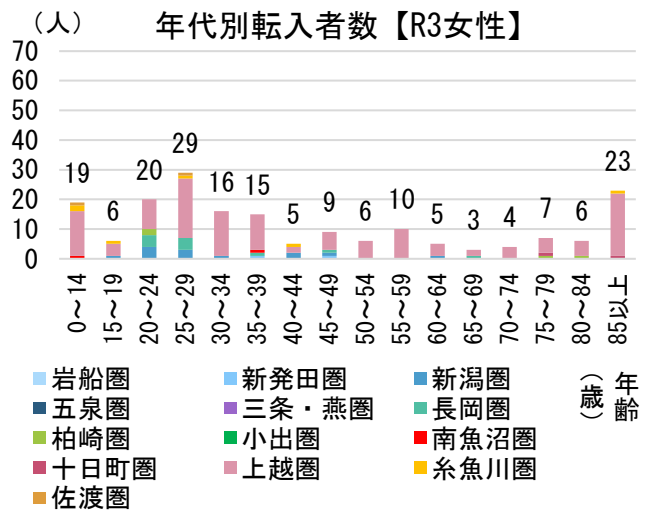
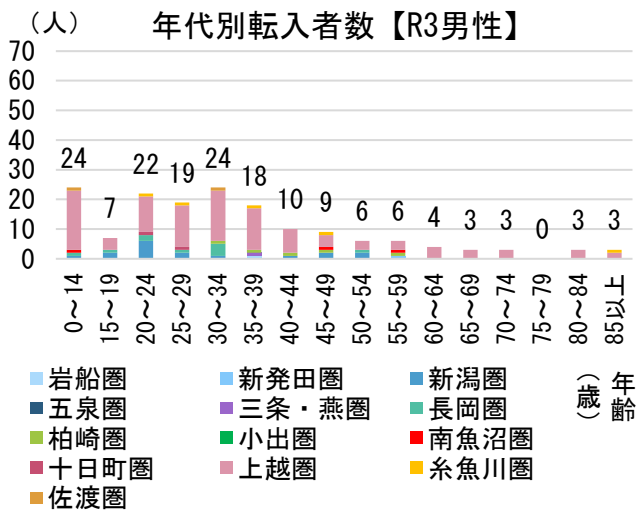
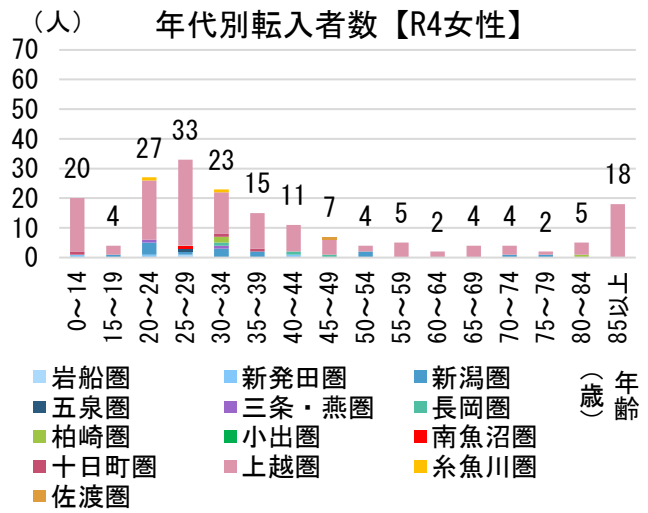
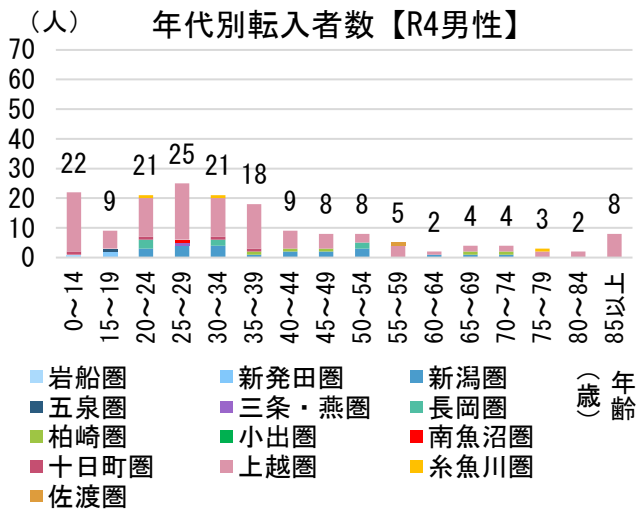


図 年代別転入者数（県内）
資料：年齢階層理由別移動状況（住民基本台帳人口移動報告（総務省）により作成）

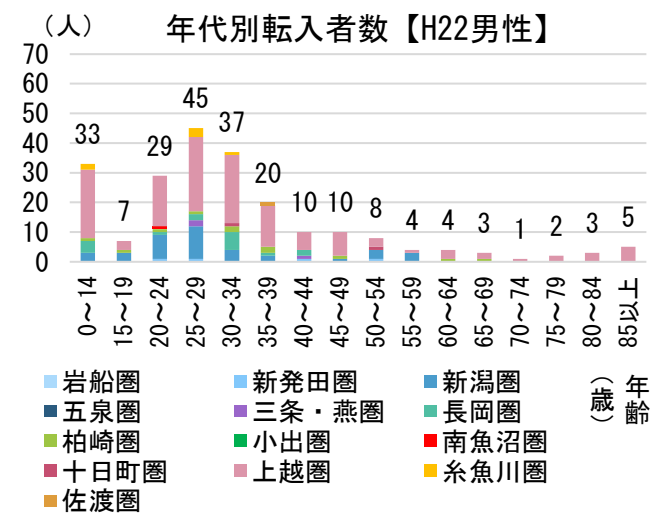
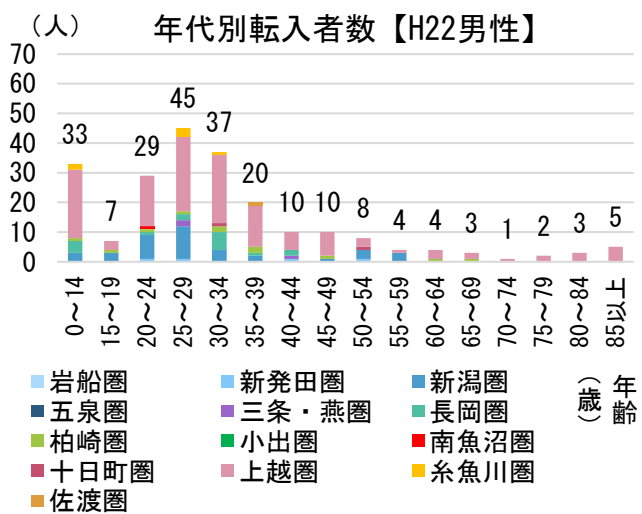
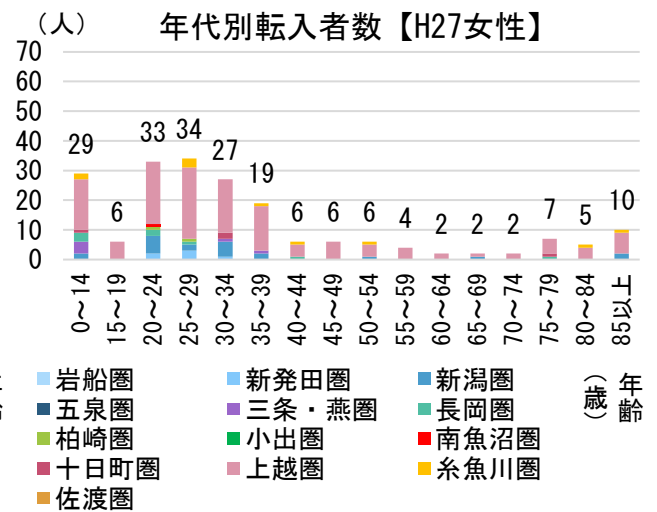
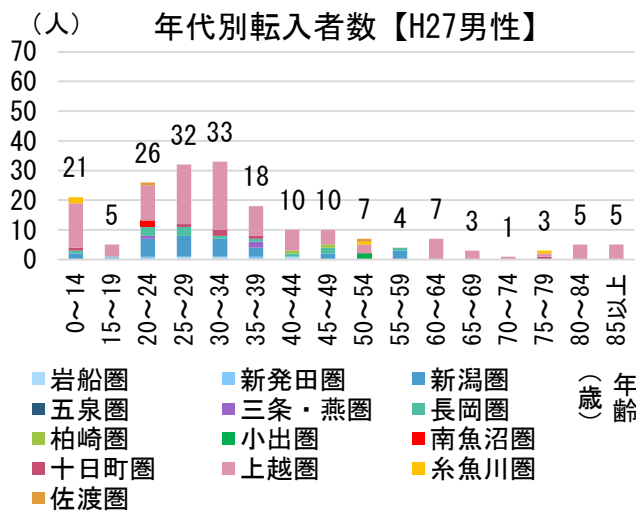


図 年代別転入者数（県内）

資料：年齢階層理由別移動状況（住民基本台帳人口移動報告（総務省）により作成）

●転出先は、新潟県内（上越圏）や関東が多い。

[データ解説]

- ・令和4年の転出者は、新潟県内（約5割）や関東（約2割）が多くなっています。
- ・新潟県内の転出先は、上越圏が多くなっています（令和4年：男性約6割、女性約7割）。

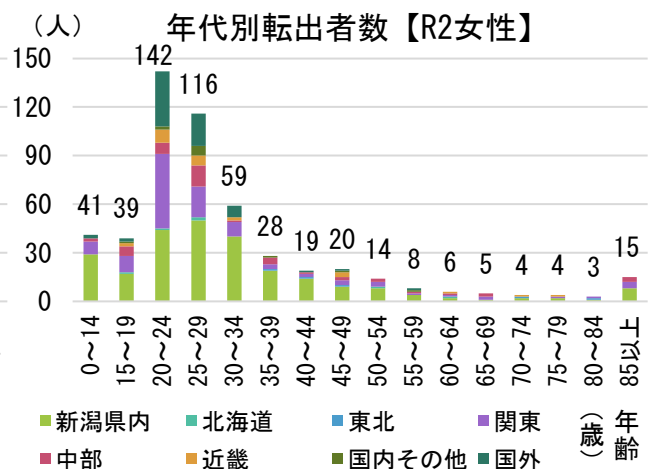
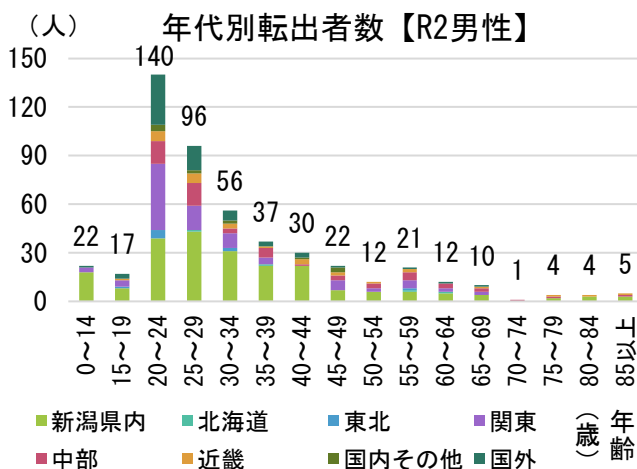
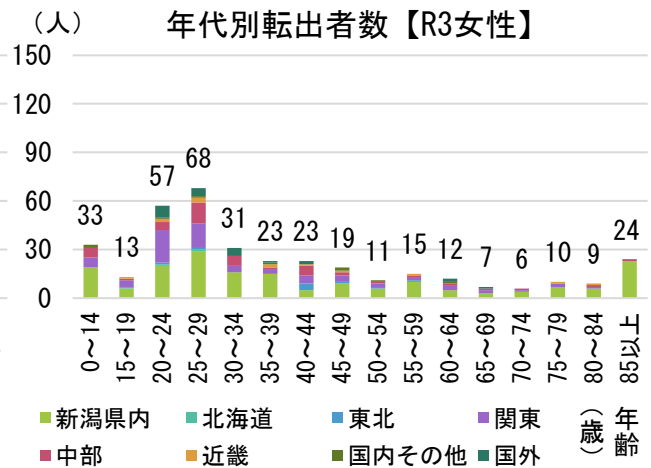
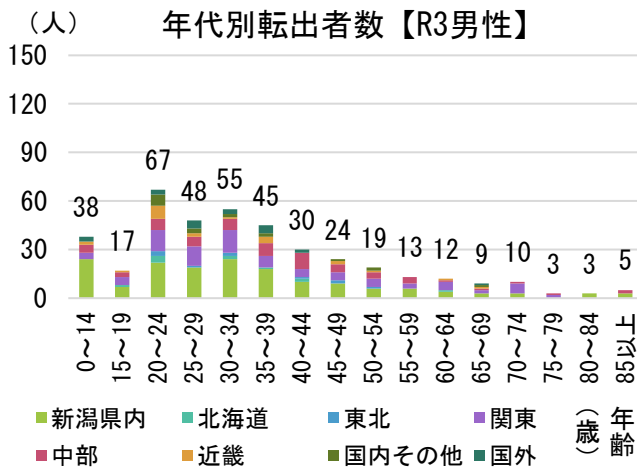
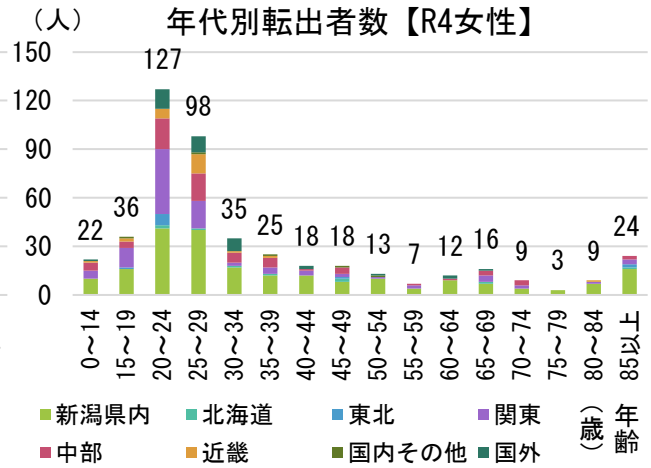
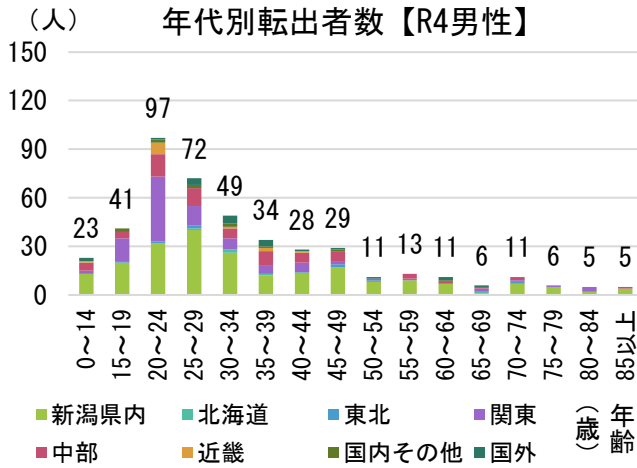


図 年代別転出者数（県内外）
資料：年齢階層理由別移動状況（住民基本台帳人口移動報告（総務省）により作成）

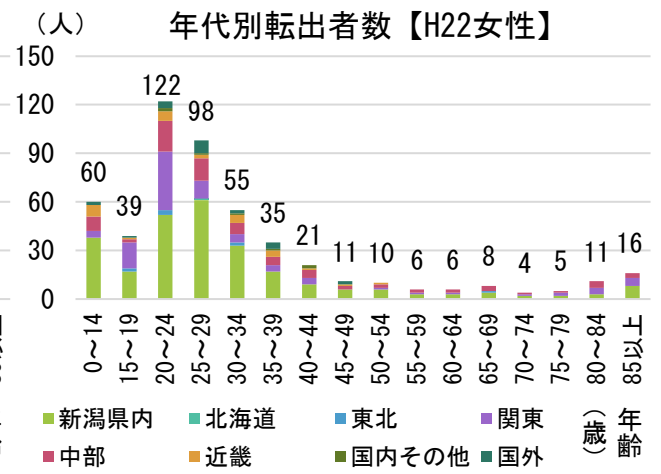
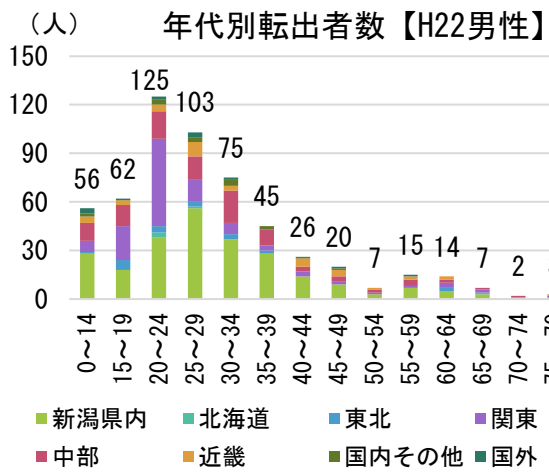
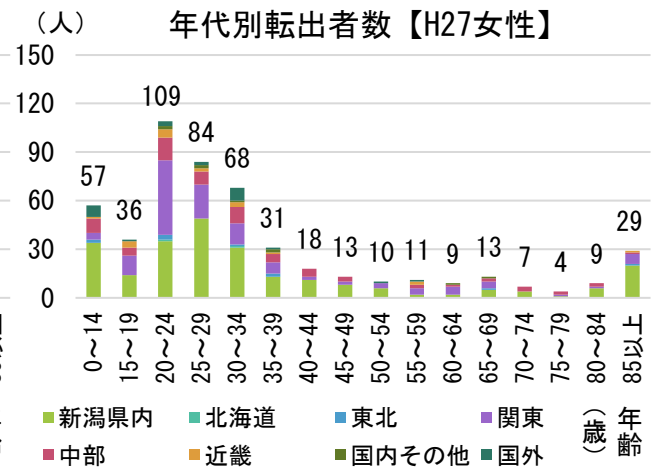
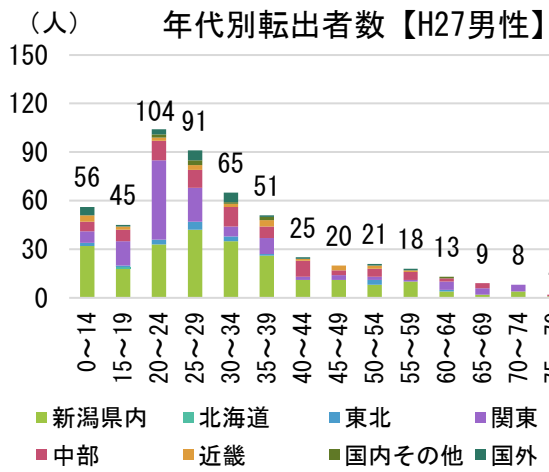


図 年代別転出者数（県内外）

資料：年齢階層理由別移動状況（住民基本台帳人口移動報告（総務省）により作成）

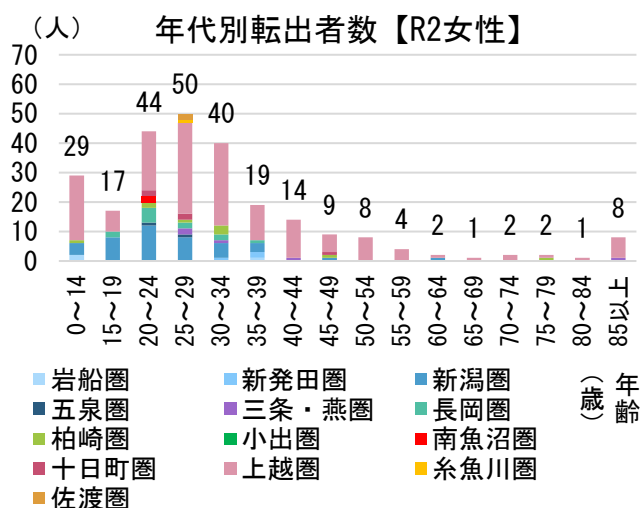
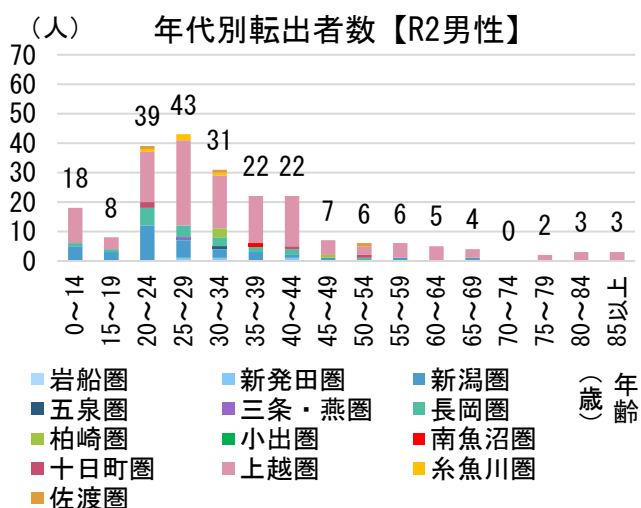
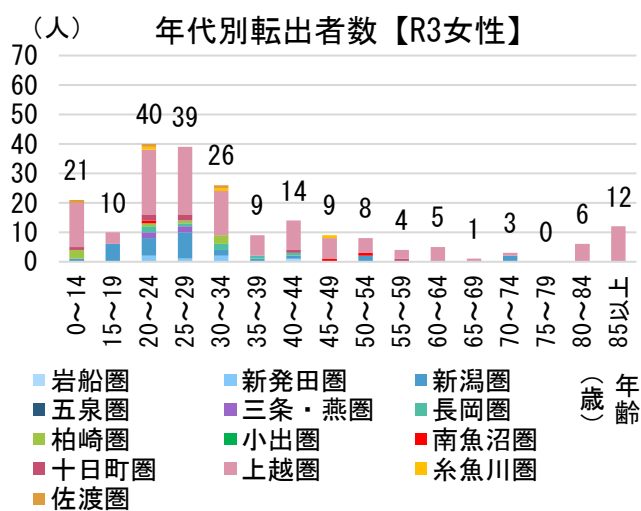
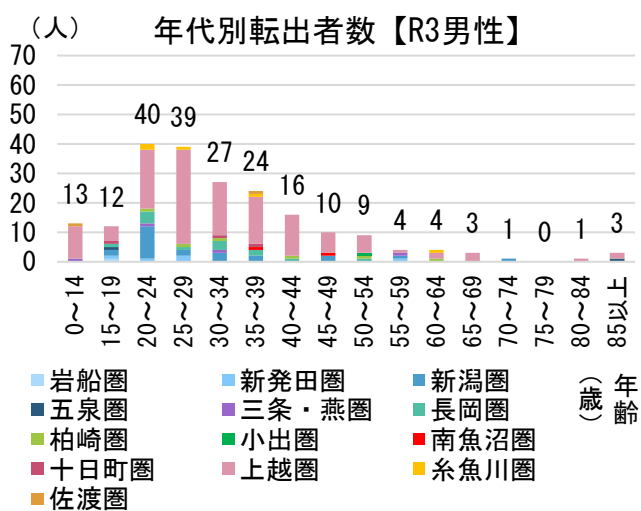
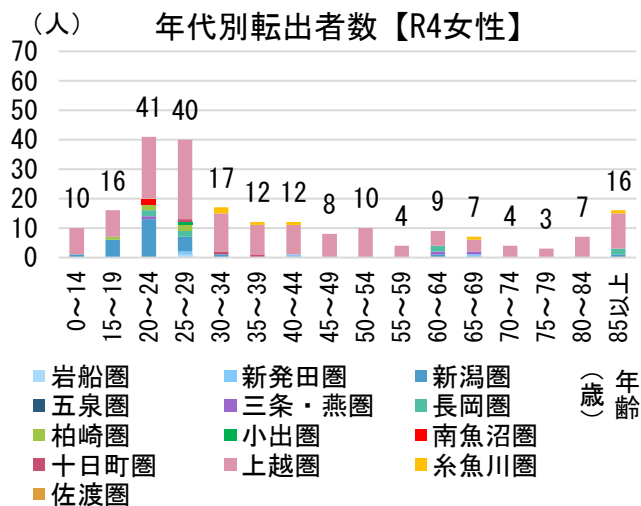
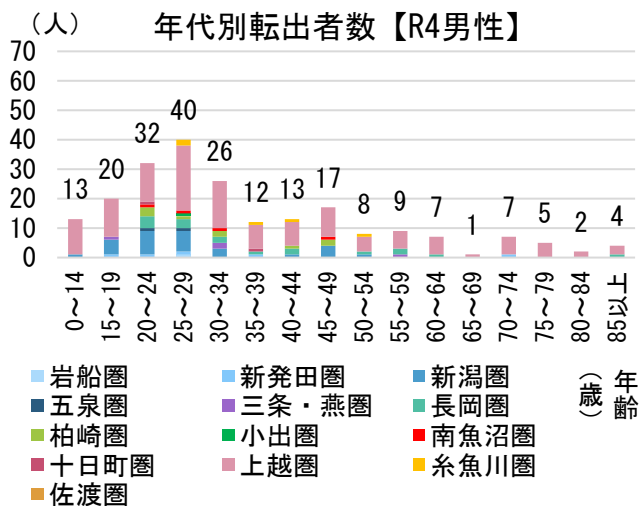


図 年代別転出者数（県内）
 資料：年齢階層理由別移動状況（住民基本台帳人口移動報告（総務省）により作成）

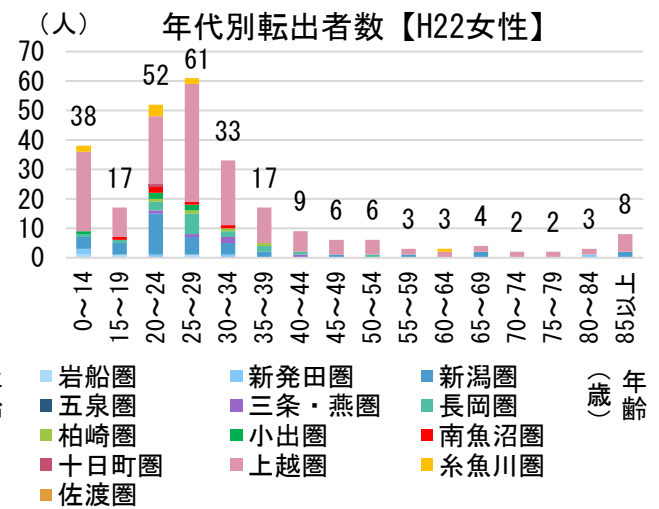
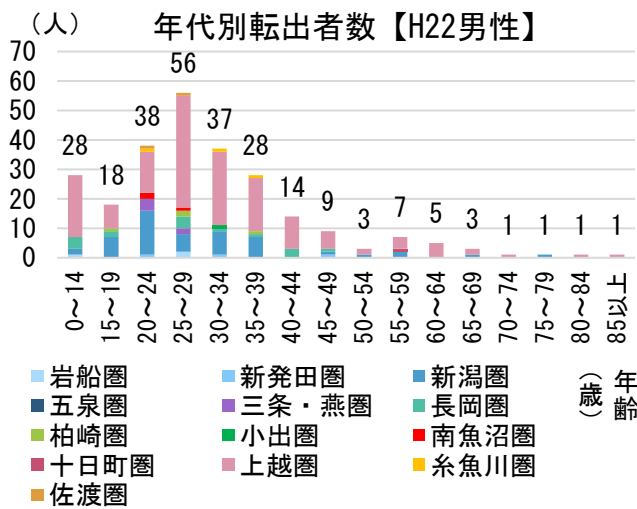
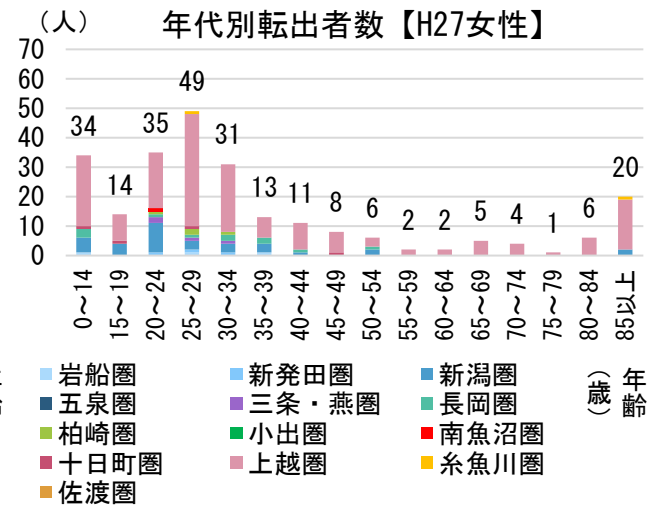
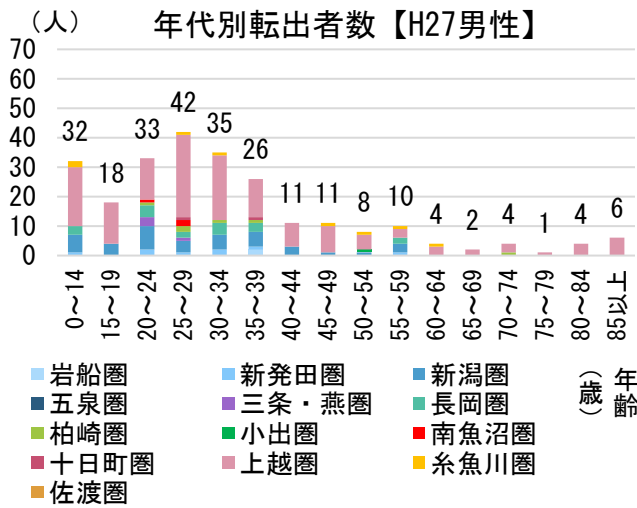


図 年代別転出者数 (県内)

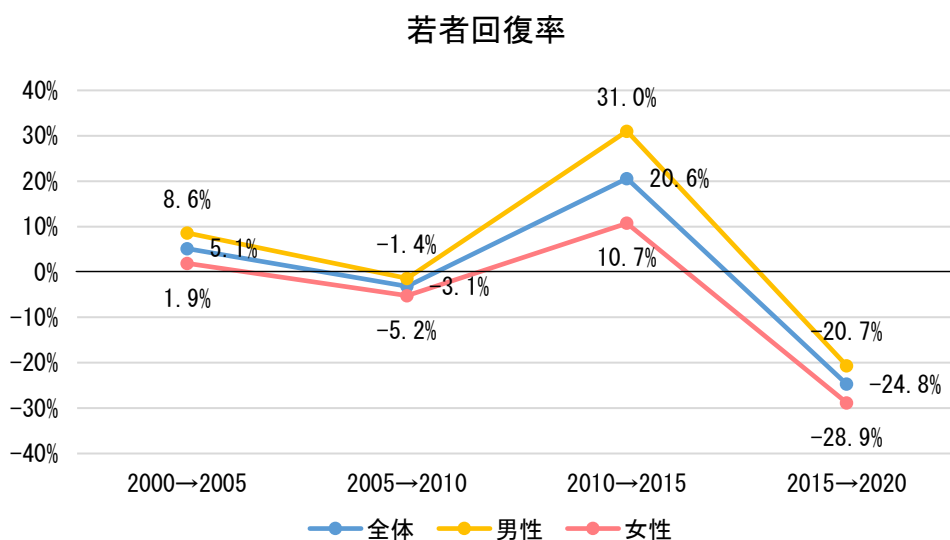
資料：年齢階層理由別移動状況（住民基本台帳人口移動報告（総務省）により作成）

(5) 若者回復率

●若者回復率はマイナス傾向で、男性より女性の方が低い傾向。

[データ解説]

- ・若者回復率とは、大学入学や就職などで市外に転出していくケースが多い10歳代の減少人数と、大学卒業や就職などで市内に転入してくるケースが多い20歳代の増加人数を比較して、10歳代で転出する人数に対して20歳代でどの程度戻ってきているのかを比率で表したものです。
- ・本市の2015年から2020年にかけての若者回復率は、男性が-20.7%、女性が-28.9%、全体が-24.8%となっており、10歳代に転出した若者層が20歳代になっても戻らず、20歳代においても転出超過傾向が継続していることが伺えます。
- ・男性・女性ともに、マイナス傾向となっていますが、特に女性の回復率が低い傾向がみられます。



■若者回復率の算出方法(2015→2020年)

	全体	男性	女性
10～14歳→15～19歳	-194	-72	-122
15～19歳→20～24歳	-509	-281	-228
①10代 減少人数	-703	-353	-350
20～24歳→25～29歳	-73	-26	-47
25～29歳→30～34歳	-101	-47	-54
②20代 増加人数	-174	-73	-101
若者回復率＝ (②÷①×-1)×(100)	-24.8%	-20.7%	-28.9%

資料：国勢調査

1-2 結婚・出産・子育て

(1) 年齢（5歳階級）別未婚率

●未婚率は、男女とも上昇傾向。特に女性の上昇幅が大きい。

[データ解説]

- ・本市の25～39歳までの未婚率は、男女とも上昇傾向となっています。
- ・特に女性の未婚率の上昇幅が大きく、30年前（平成2（1990）年時点）との比較では、25～29歳で約2倍、30歳以上では4倍以上に上昇しています。

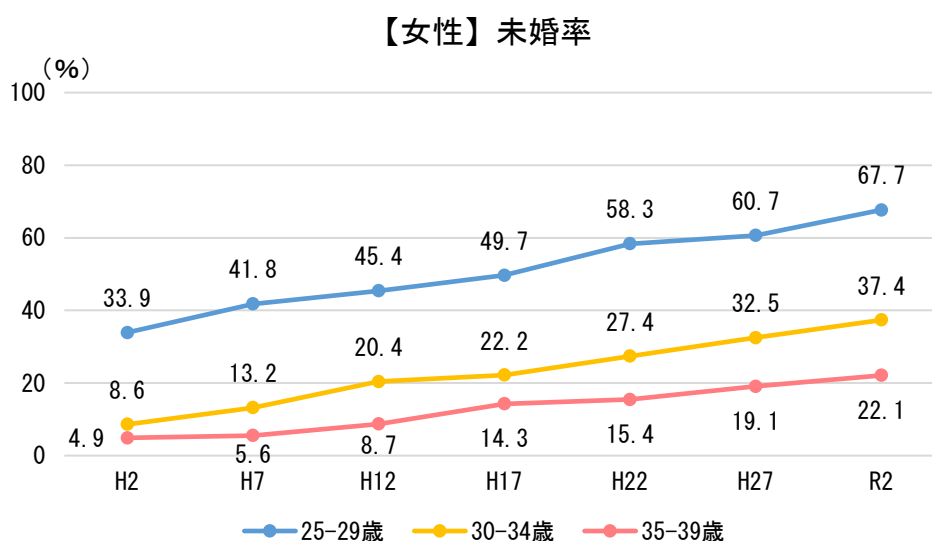
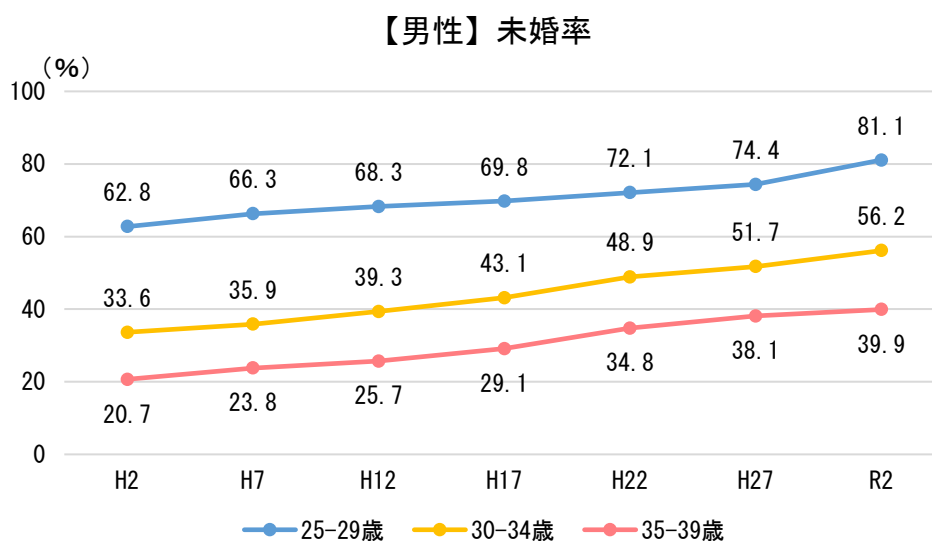


図 年齢（5歳階級）別未婚率の推移

資料：国勢調査

(2) 平均初婚年齢（新潟県）

●平均初婚年齢は、晩婚化の傾向が継続。

[データ解説]

- ・初婚年齢は緩やかな上昇を経て、近年は横ばい傾向となっています。
- ・令和2（2020）年時点で夫が30.0歳、妻が28.7歳となっており、晩婚化の傾向が継続しています。

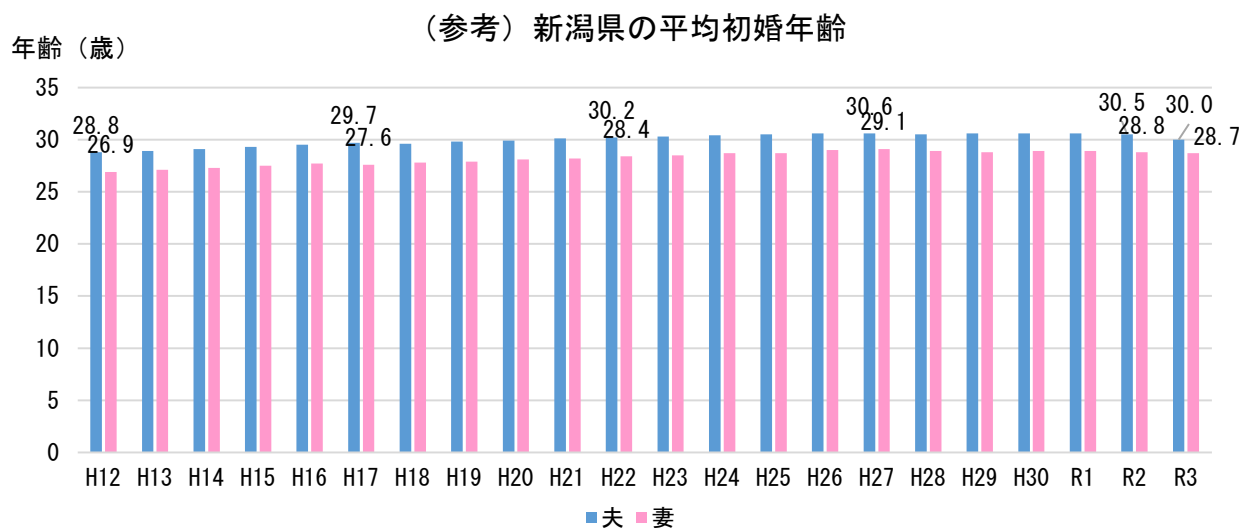


図 平均初婚年齢の推移

資料：人口動態統計

(3) 合計特殊出生率等

- 合計特殊出生率は、県平均より高く、特に第2子、第3子以降が高い。
- 未婚率は、県平均を上回っており、特に男性の未婚率が高い。

[データ解説]

- ・ 県下市町村平均との比較によると、本市の合計特殊出生率は県平均よりも高く、特に第2子、第3子以降が高い傾向がみられます。
- ・ 未婚率は、男女ともに県平均を上回っており、特に男性の未婚率は、県平均を大きく上回っています。

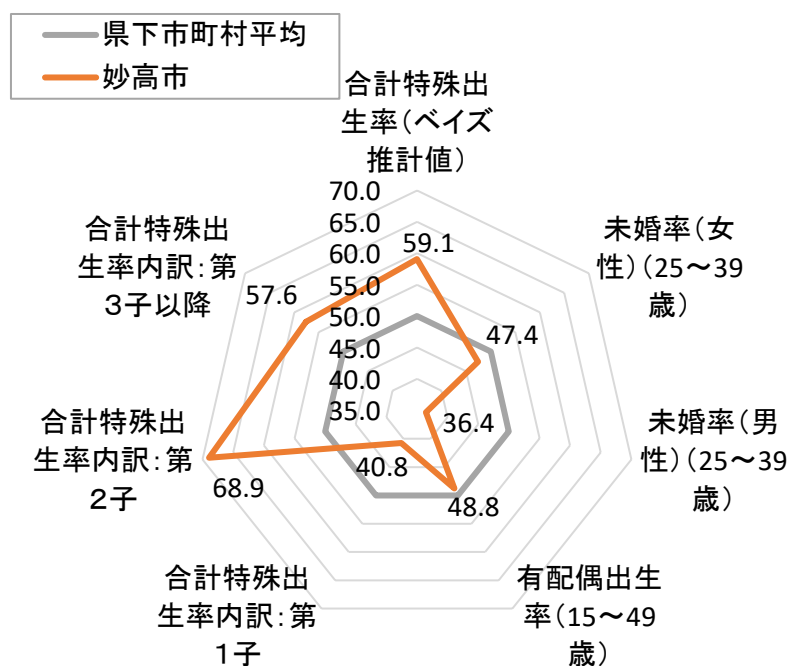


図 県下市町村平均との比較

資料：少子化対策地域評価ツール（令和2年3月策定、令和5年3月改訂（第4版））
 ※未婚率は逆向きの偏差値としている（未婚率が低いほど偏差値は高い）

(4) 子育て支援サービス

- 妊娠等に関する相談支援の面でのオンライン活用、産前産後における支援に取り組む自治体は少ない。

[データ解説]

- ・ 県下市町村をみると、妊娠期の伴走型相談支援におけるオンライン活用や産前産後における多胎妊産婦や父親等に対する支援、宿泊型産後ケアに取り組む自治体は少ない状況となっています。

■ 市町村母子保健事業一覧表（令和5年度）その1

市町村名 (入力内容)	子育て世代包括支援センター	こども家庭センター	出産・子育て応援交付金				妊娠出産包括支援事業					
			伴走型相談支援				産前産後サポート事業					
			妊娠届出時の面談	妊娠8か月頃の面談		出生後の面談	実施	アウトリーチ型	デイサービス型	多胎妊娠等支援	妊産婦等への育児用品等による支援	出産や子育てに悩む父親に対する支援
実施	実施	オンラインの活用	実施	実施	実施	実施		実施	実施			
妙高市	○	予定あり	○	○	なし	○	○	○	○	-	-	-
新潟市	○	検討中	○	○	なし	○	○	-	-	○	-	-
村上市	○	検討中	○	○	なし	○	-	-	-	-	-	-
関川村	○	なし	○	○	なし	○	-	-	-	-	-	-
粟島浦村	○	なし	○	○	なし	○	-	-	-	-	-	-
新発田市	○	○	○	○	なし	○	○	○	○	○	-	-
阿賀野市	○	予定あり	○	○	なし	○	○	-	○	○	○	-
胎内市	○	予定あり	○	○	なし	○	○	-	○	-	-	-
聖籠町	○	予定あり	○	○	なし	○	-	-	-	-	-	-
五泉市	○	予定あり	○	○	なし	○	○	○	○	○	-	○
阿賀町	○	なし	○	○	なし	○	○	○	○	-	-	-
三条市	○	予定あり	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
加茂市	○	予定あり	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
燕市	○	予定あり	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
弥彦村	○	なし	○	○	なし	○	-	-	-	-	-	-
田上町	○	なし	○	○	なし	○	○	-	○	-	-	-
長岡市	○	検討中	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
小千谷市	○	予定あり	○	○	なし	○	○	-	○	○	-	-
見附市	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-
出雲崎町	○	検討中	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-
魚沼市	○	予定あり	○	○	なし	○	-	-	-	-	-	-
南魚沼市	○	○	○	○	なし	○	○	-	-	-	○	-
湯沢町	○	なし	○	○	なし	○	○	○	○	-	○	-
十日町市	○	予定あり	○	○	なし	○	○	○	-	○	-	○
津南町	○	検討中	○	○	なし	○	-	-	-	-	-	-
柏崎市	○	予定あり	○	○	なし	○	-	-	-	-	-	-
刈羽村	○	検討中	○	○	なし	○	-	-	-	-	-	-
上越市	○	予定あり	○	○	なし	○	-	-	-	-	-	-
糸魚川市	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
佐渡市	無	なし	○	○	なし	○	○	○	-	-	-	-

■ 市町村母子保健事業一覧表（令和5年度）その2

市町村名 (入力内容)	妊娠出産包括支援事業				妊産婦健康診査		多胎妊産婦への支援	妊産婦健康診査							
	産後ケア事業				妊産婦健康診査	産婦健康診査	多胎妊娠の妊産婦健康診査費用の助成	妊産婦医療費助成	妊産婦歯科健診			産婦歯科健診			
	実施	宿泊型	デイサービス型	アウトリーチ型	回数	実施	実施	対象者	医療委託	市町村実施	医療委託	市町村実施	一人あたり回数	一人あたり回数	年間回数
		実施	実施	実施					一人あたり回数	一人あたり回数	一人あたり回数	一人あたり回数			
妙高市	○	—	—	○	14	○	○	全員	1						
新潟市	○	○	○	○	14	—	○	全員		1	86				
村上市	○	○	—	—	14	○	—	一部	1						
関川村	○	○	—	—	14	○	—	全員	1	0	0	0	0	0	0
粟島浦村	—	—	—	—	15	○	—	全員	0	1	1	0	1	1	
新発田市	○	○	○	○	14	○	○	全員	1	0	0	0	1	24	
阿賀野市	○	○	○	—	全回数	○	—	全員		1	8		1	12	
胎内市	○	○	○	—	14	○	—	全員	1			1			
聖籠町	○	○	—	○	14	—	—	全員		1	6				
五泉市	○	○	○	○	14	○	—	全員	1						
阿賀町	○	○	—	○	14	○	—	全員	1						
三条市	○	○	○	—	14	○	—	全員	1						
加茂市	○	○	○	○	14	○	—	全員	1						
燕市	○	○	○	—	15回目以降も申請により可	○	—	全員	1						
弥彦村	○	—	—	○	14	○	—	全員	1				1	6	
田上町	○	—	○	○	14	—	—	全員	1						
長岡市	○	○	○	—	15回目以降も申請により可	○	—	一部	1	無		無	無		
小千谷市	○	○	○	○	14	○	—	全員	1						
見附市	○	—	○	○	14	○	—	全員	1	—		—			
出雲崎町	○	—	○	○	14	○	—	全員	1	1	4	0	0	0	0
魚沼市	○	○	○	○	16	○	—	全員	1	0	0	0	0	0	0
南魚沼市	○	○	○	○	14	○	—	全員	1						
湯沢町	○	○	○	○	14	○	—	全員	1						
十日町市	○	○	○	—	14	○	—	全員	1						
津南町	○	○	○	—	14	○	—	全員	1						
柏崎市	○	○	—	—	14	○	—	全員	1	1	6				
刈羽村	—	—	—	—	14	○	—	全員	1						
上越市	○	—	○	○	14	○	—	全員	1						
糸魚川市	○	○	○	○	全回 ※15回目以降は 別途	○	—	全員	1						
佐渡市	—	—	—	—	14	○	—	全員	1	—	—	—	—	—	—

■ 市町村母子保健事業一覧表（令和5年度）その3

市町村名	訪問指導		健康相談		健康教育		健康診査				
	妊婦訪問	産婦訪問	妊婦健康相談	産婦健康相談	母親学級	両親学級	乳児健診医療機関委託	乳児市町村集団健診	1歳6ヶ月児健診	3歳児健診	その他の幼児健康診査
(入力内容)	実施の有無	実施の有無	年間回数	年間回数	実施の有無	実施の有無	一人あたり回数	年間回数	年間回数	年間回数	年間回数
妙高市	有	有	随時	随時	無	有		48	12	12	
新潟市	有	有	随時	101	有		2		152	152	101
村上市	有	有	随時	随時	無	無	1	18	20	20	
関川村	有	有	随時	随時	無	無	2	0	4	4	
粟島浦村	有	有	随時	随時	無	無	2		2~3	2~3	2~3
新発田市	有	有	24回+随時	24回+随時	無	有	1	24	24	24	
阿賀野市	有	有	141回 その他随時	随時	無	有		23	11	12	
胎内市	有	有	随時	随時	無	有		24	12	12	12
聖籠町	有	有	随時	随時	有	無		12	6	6	
五泉市	有	有	随時	随時	無	有		24	12	12	6 随時
阿賀町	有	有	随時	随時	無	無	1	12	5	4	
三条市	有	有	随時	随時			1	12	12	12	
加茂市	有	有	随時	随時			1	12	12	12	
燕市	有	有	随時	随時	有	有	2	24	36	36	
弥彦村	有	有	随時	随時		有	1	12	6	6	
田上町	有	有	随時	随時	無	無	1	12	6	6	
長岡市	有	有	随時	随時	無	有	2		37	36	
小千谷市	有	有	随時	随時	有	有	1	24	12	12	
見附市	有	有	随時	随時	無	有	2		10	11	
出雲崎町	有	有	随時	随時	無	無	1	4	4	4	
魚沼市	有	有	随時	随時	無	有	1	12	12	12	
南魚沼市	有	有	随時	随時	無	有	1	12	20	22	
湯沢町	有	有	³⁹ 母子手帳交付時	随時	有	無		7	5	5	
十日町市	有	有	随時	随時	無	有	1	12	8	8	
津南町	有	有	随時	随時	無	無		6	6	6	
柏崎市	有	有	週1回 (助産師相談日)	46回(助産師相談日:週1回)		有	1	48	48	24	
刈羽村	有	有	随時	随時	無	有	1	7	7	7	
上越市	有	有	随時	随時	無	有	2	48	48	48	
糸魚川市	有	有	随時	随時	有	有	2	24	12	12	
佐渡市	有	有	随時	随時	無	有	1	49	21	22	—

市町村母子保健事業一覧表（令和5年度）その4

市町村名	訪問指導						育児相談			育児教室			あそびの教室	療育指導	母子保健推進組織の有無	母子保健協議会等回数	電話相談設置の有無	電話相談以外の相談事業
	新生児 基本回数	乳児 対象者	幼児 対象者	乳児全戸訪問事業	養育支援訪問事業	未熟児訪問	乳児 年間回数	幼児 年間回数	その他 年間回数	乳児 年間回数	幼児 年間回数	その他 年間回数						
妙高市	1	一部	一部	○	有	○	12							通年	無		有	
新潟市	2	一部 (新生児訪問未実施者・要支援)	一部 (要支援)	○	有	○	156	156	86	区により異なる	区により異なる		148	465		70	有	無
村上市	1	一部	一部	○	有	○	24	20	62					随時	無	1 1 12	有	オンライン
関川村	1	全員	一部	○	有	○	10	4					約220回	5	有	各1	有	
粟島浦村	1	全員	一部	○	有	○	随時	随時								4~6	無	
新発田市	1	一部	一部	○	無	○	24	24		12					無	5 1 2 1	有	オンライン
阿賀野市	1	一部	一部	○	有	○	141	141	141	11	9			10 随時 4	無	1 随時	有	
胎内市	1	全員	一部	○	有	○	12	24	12				随時	①随時②③ 未定		①2②2 ③随時	有	
聖籠町	1	全員	一部	○	有	○				6			※削除	39	無	①随時② ③3	有	
五泉市	1	全員	一部	○	有	○	12		18	24	7回			24	無	2 1	有	
阿賀町	1	全員	一部	○	有	○	随時	随時						①6②2③6	有	①2②1③業務 専任員4名/年、代表者会議1 回/年	有	オンライン
三条市	1回(必要に応じて2回)	一部	一部	○	有	○	12							①8③2②104		①4回②2回 ③10回	有	LINE
加茂市	1	一部	一部	○	有	○	12	随時		12				24	無	1 5 2	有	①オンライン・Zoom ②毎月5回オンライン開催
燕市	2	一部	一部	○	有	○	24	24	12					64	有	2 2 2	有	ZOOM
弥彦村	2	一部	一部	○	有	○	12	12						12	有	2 3	有	
田上町	1	全員	一部	○		○	24	24		12				22 42		3	有	
長岡市	1~2	一部	一部	○	有	○	52		12					250	有	3 12 1 1	有	
小千谷市	1	一部	一部	○	有	○	随時	随時	随時	5	各4		139	46 12		2 1 2	有	
見附市	1	一部 (健診等での要指)	一部	○	有	○	随時	随時	①6回②7回					随時		5	有	Zoom
出雲崎町	1回(必要に応じて複数回)	全員	一部	○	有	○	12	12	随時	随時			110	10	有	4 1 1	有	LINE ZOOM
魚沼市	1回(必要に応じて複数回)	一部	一部	○	有	○	随時	随時	随時	12			293	24	無	4	有	
南魚沼市	1	一部	一部	○	有	○	随時	随時	随時	12					無	1 1	無	
湯沢町	1	全員	一部	○	有	○	随時	随時		6	1		193	24	有	11 1 1	有	
十日町市	1	一部	一部	○	有	○	12	8	42				11	20	有	1 10	有	
津南町	1	一部	一部	○		○	随時	随時	随時							2 2 4		
柏崎市	1	一部	一部	○	有	○	36	12	12	24			20	605	無	3	有	オンライン
刈羽村	1~2	一部	一部	○	有	○	36	36						11		2	有	
上越市	1	一部	一部	○	有	○	随時	随時						34	無		有	
糸魚川市	1	初産全員 経産婦一部	一部	○		○	24		12	12			1	通年		4	有	
佐渡市	1	一部	一部	○	有	○	12回×10か所							月~金 随時	有	2回 12回	有	①Zoom ②オンライン

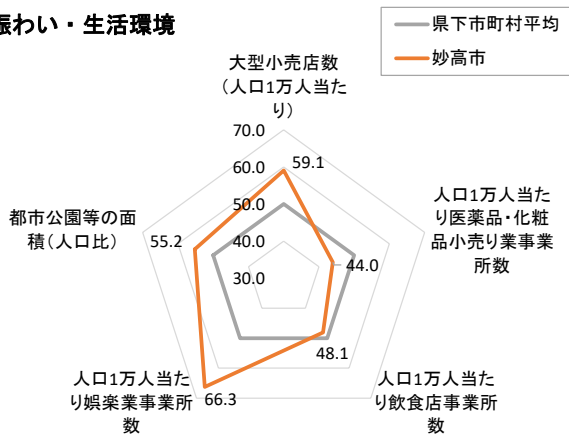
(5) 結婚・出産・子育てに関連する指標（県内他都市との比較）

●賑わい・生活環境や住環境は充実している反面、医療・保健環境や働き方・男女共同参画の面で課題がある。

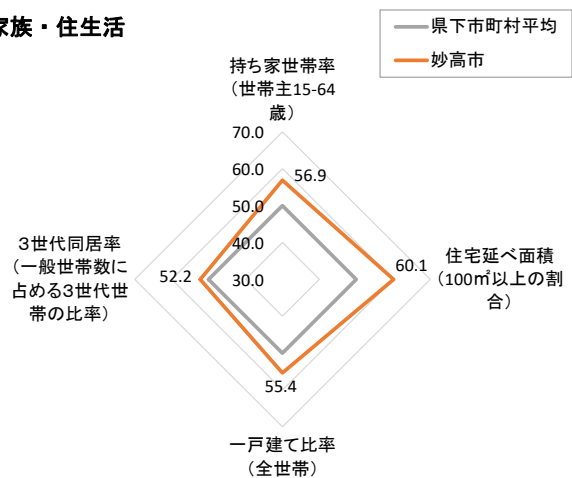
[データ解説]

- ・県内他都市との比較では、「賑わい・生活環境」「家族・住生活」に関する指標で県平均を上回っている項目が多くみられ、充実している状況が伺えます。
- ・一方で、「医療・保健環境」「働き方・男女共同参画」の面では、県平均よりも低い項目がみられ、課題があることが伺えます。

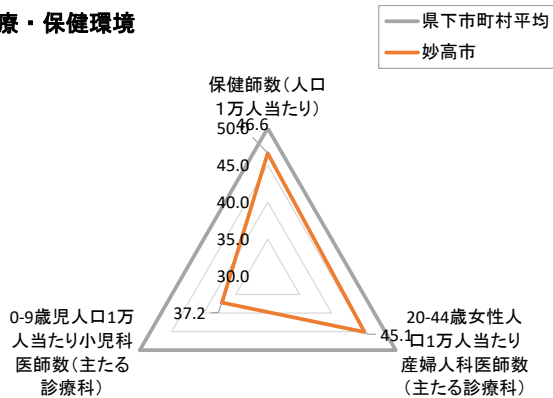
賑わい・生活環境



家族・住生活



医療・保健環境



働き方・男女共同参画

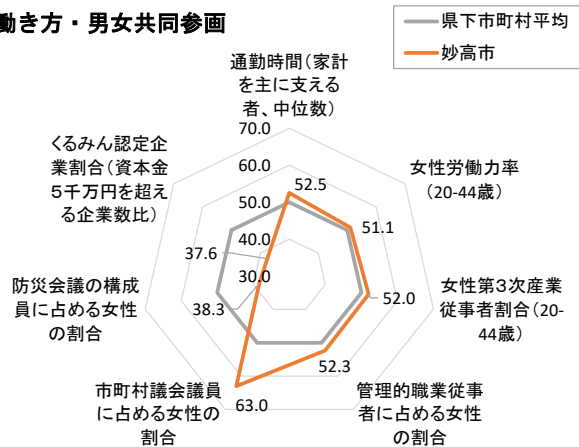


図 分野別レーダーチャート

【出典】少子化対策地域評価ツール（令和2年3月策定、令和5年3月改訂（第4版））
 ※通勤時間、女性第3次産業従事者割合は逆向きの偏差値としている（低いほど偏差値は高い）

1-3 地域産業・雇用

(1) 付加価値額

- 地域産業を牽引しているのは、製造業や宿泊業・飲食サービス業。
- 特に、電子部品・デバイス・電子回路製造業や宿泊業の稼ぐ力が強い。

[データ解説]

- ・付加価値額の構成比が高い産業を見ることで、地域の中でどの産業が所得を稼ぐことに貢献しているのか把握します。
- ・本市の場合は、全国平均や県平均と比較して、製造業や宿泊業・飲食サービス業の構成比が高い傾向がみられることから、これらの産業が地域に高い付加価値を生み出していることが伺えます。
- ・製造業や宿泊業・飲食サービス業の内訳をみると、特に電子部品・デバイス・電子回路製造業（製造業の66.5%）や宿泊業（宿泊業・飲食サービス業の71.7%）の割合が高く、稼ぐ力が強いことが伺えます。

付加価値額(企業単位) 2016年

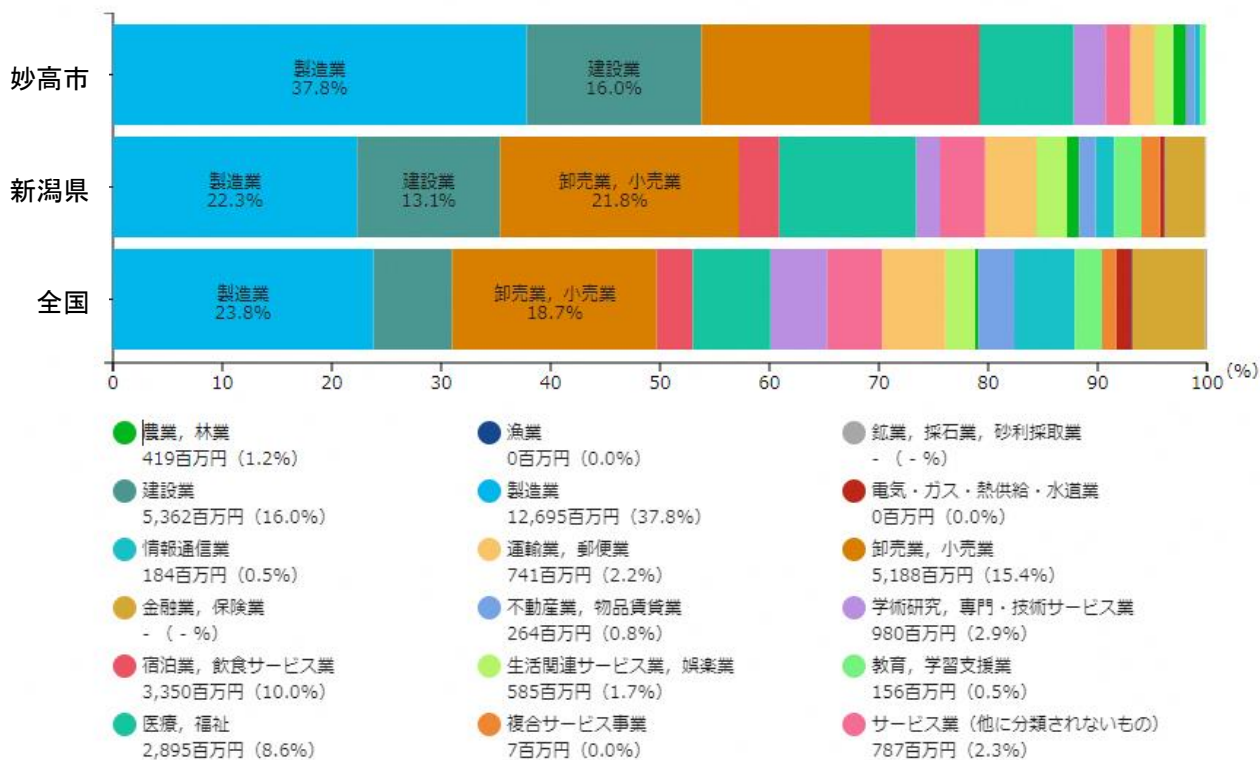


図 付加価値額（全産業）

【出典】総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工（地域経済分析システム RESAS）

製造業

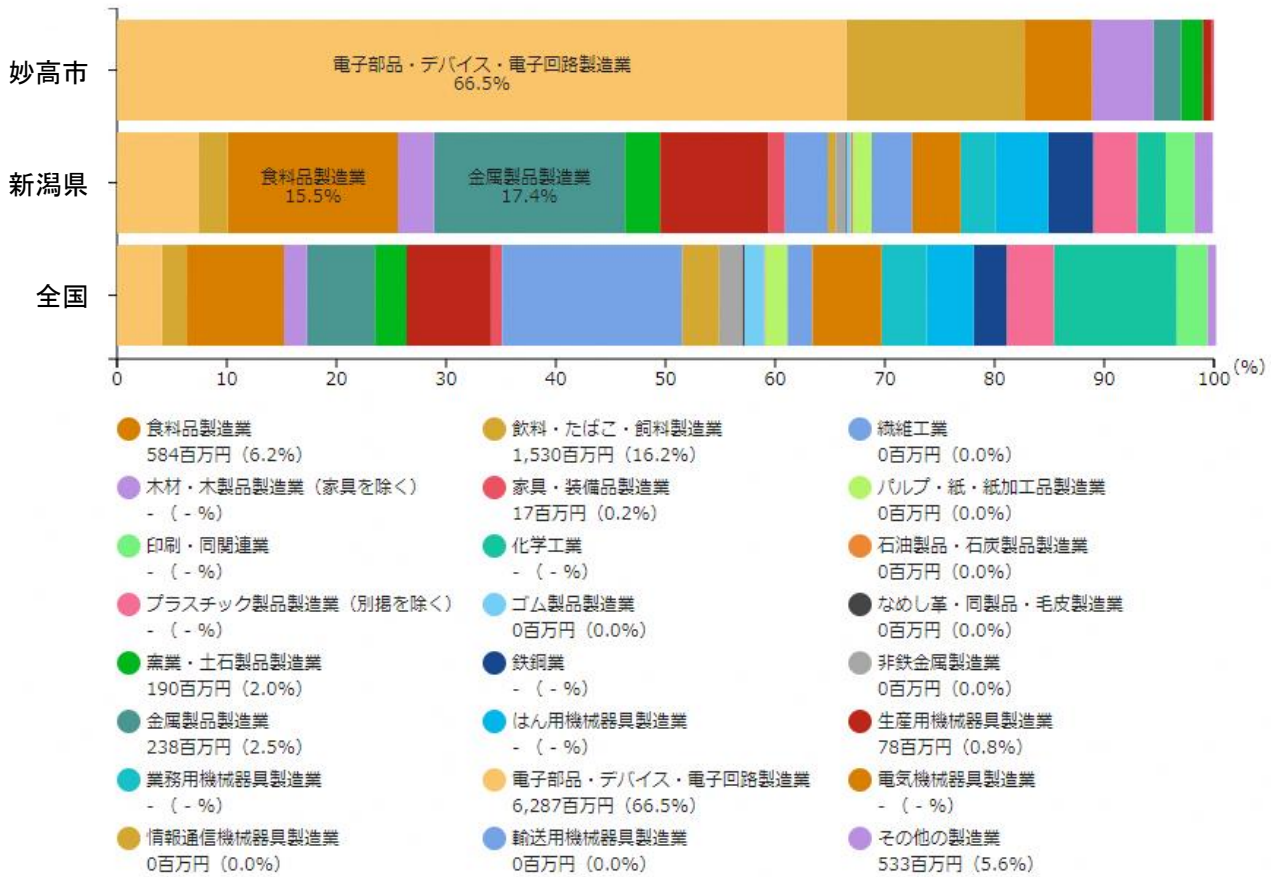


図 付加価値額 (製造業)

【出典】総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工 (地域経済分析システム RESAS)

宿泊業, 飲食サービス業

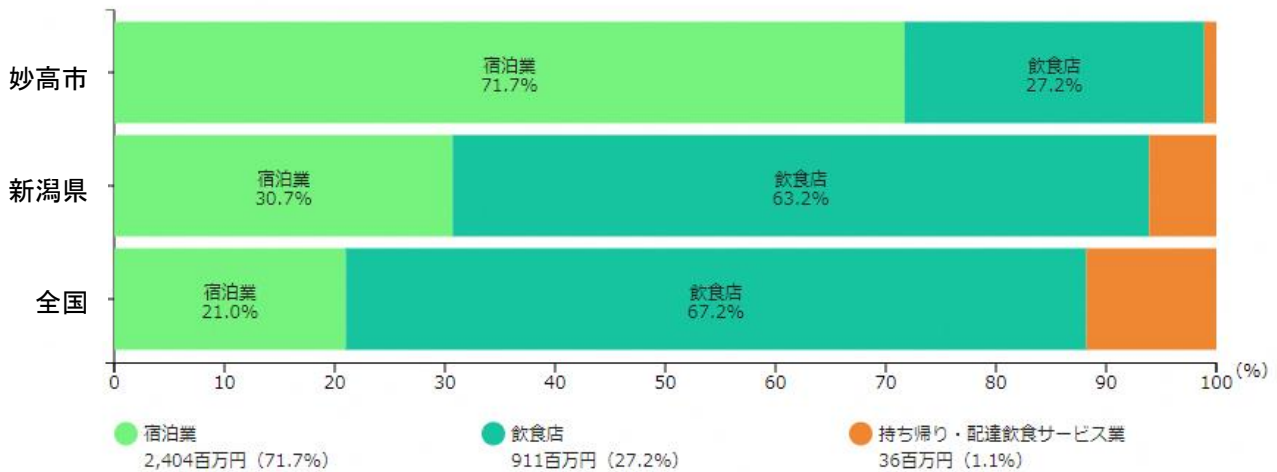


図 付加価値額 (宿泊業、飲食サービス業)

【出典】総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工 (地域経済分析システム RESAS)

(2) 企業数・事業所数・従業者数

●企業数・事業所数・従業者数は、いずれも減少傾向。

[データ解説]

・企業数・事業所数・従業者数は、いずれも減少傾向となっており、過去7年で約1～2割程度減少しています。

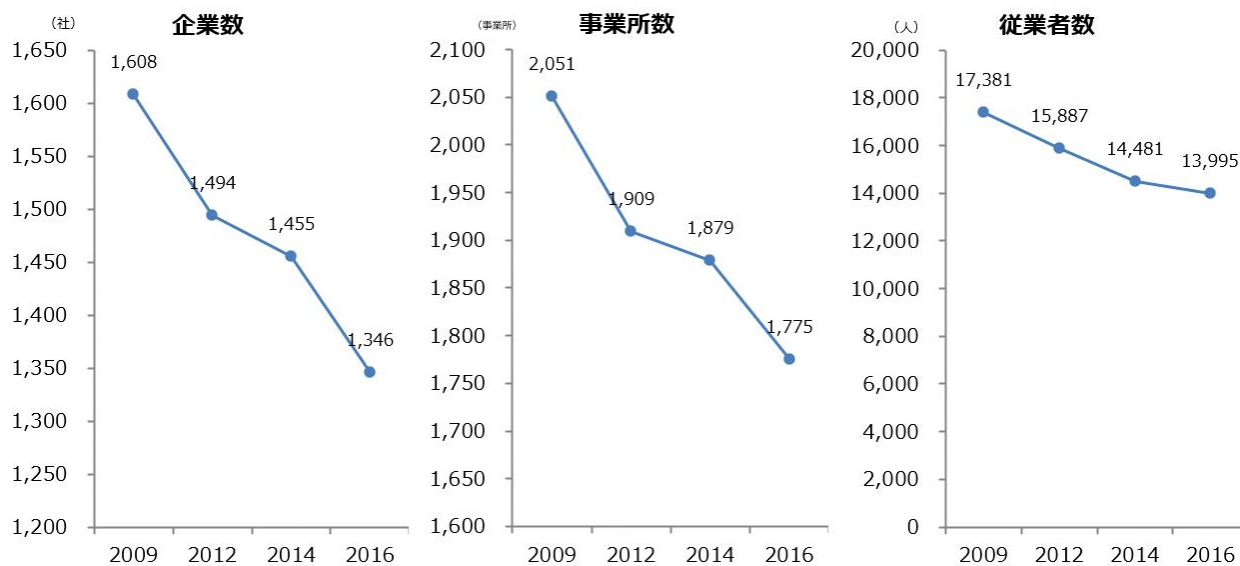


図 企業数・事業所数・従業者数の推移

【出典】総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工（地域経済分析システム RESAS）

企業数(企業単位) 2016年

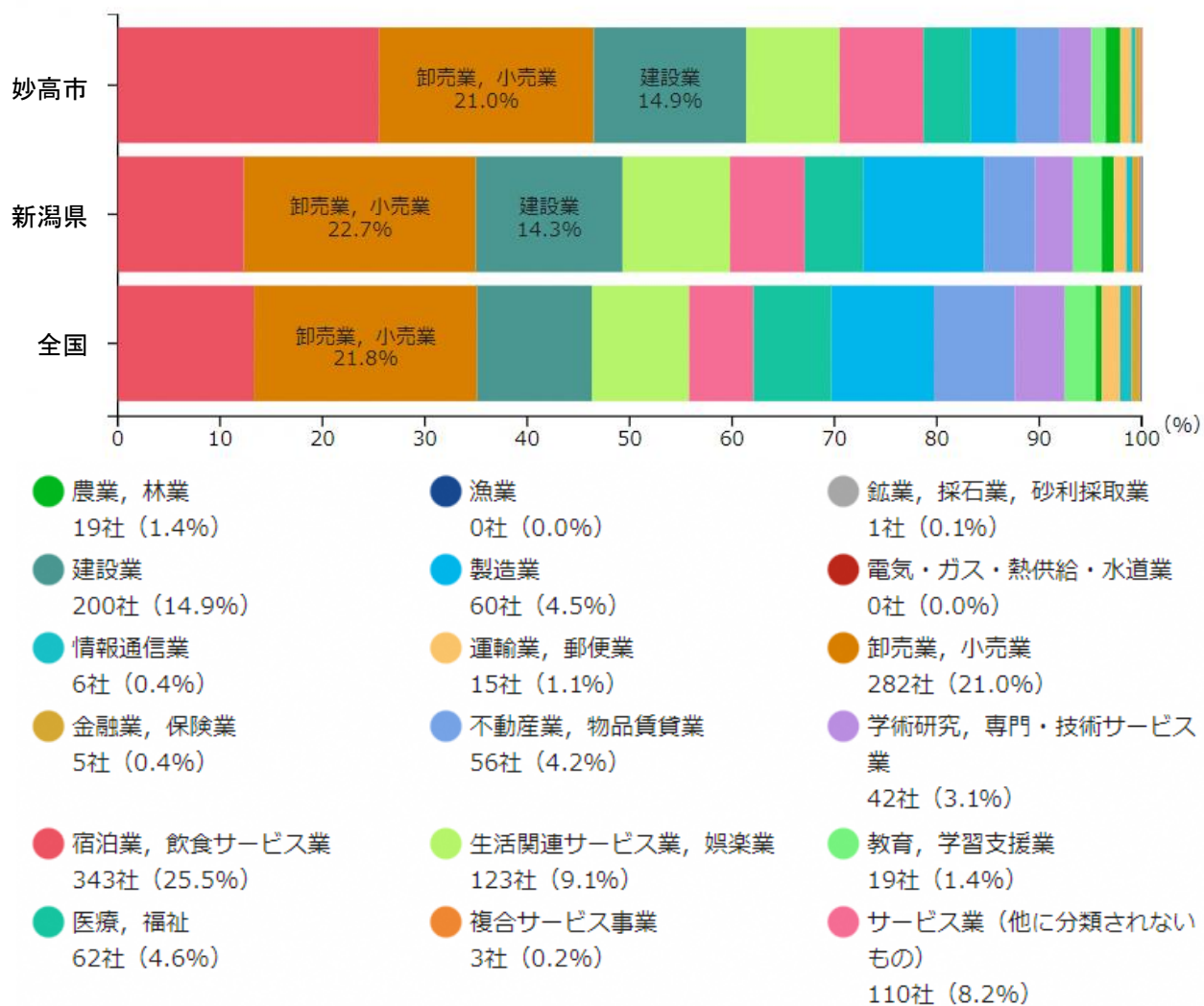


図 企業数の内訳

【出典】総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工
(地域経済分析システム RESAS)

事業所数(事業所単位) 2016年

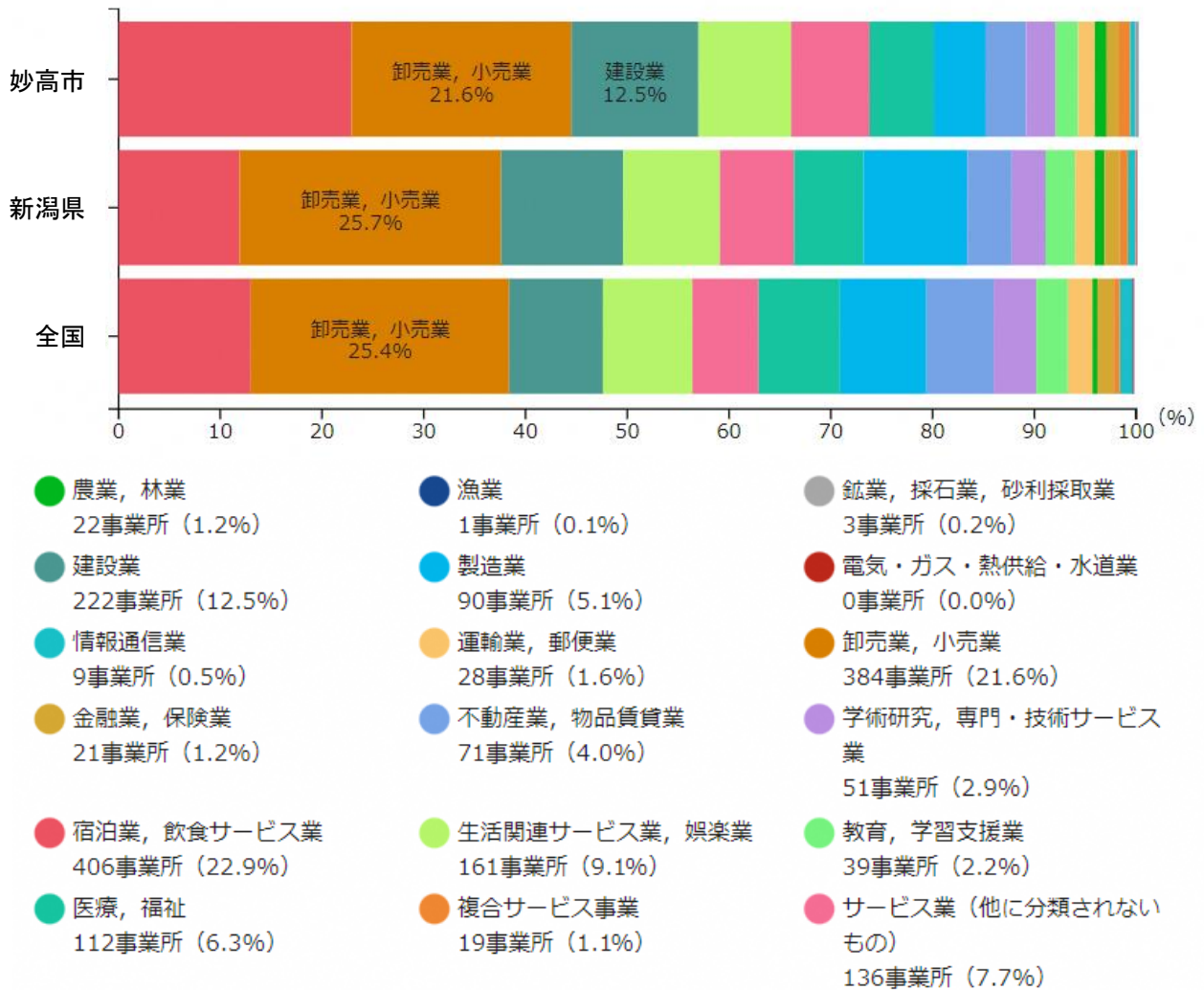


図 事業所数の内訳

【出典】総務省「経済センサス-基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工
(地域経済分析システム RESAS)

従業者数(事業所単位) 2016年

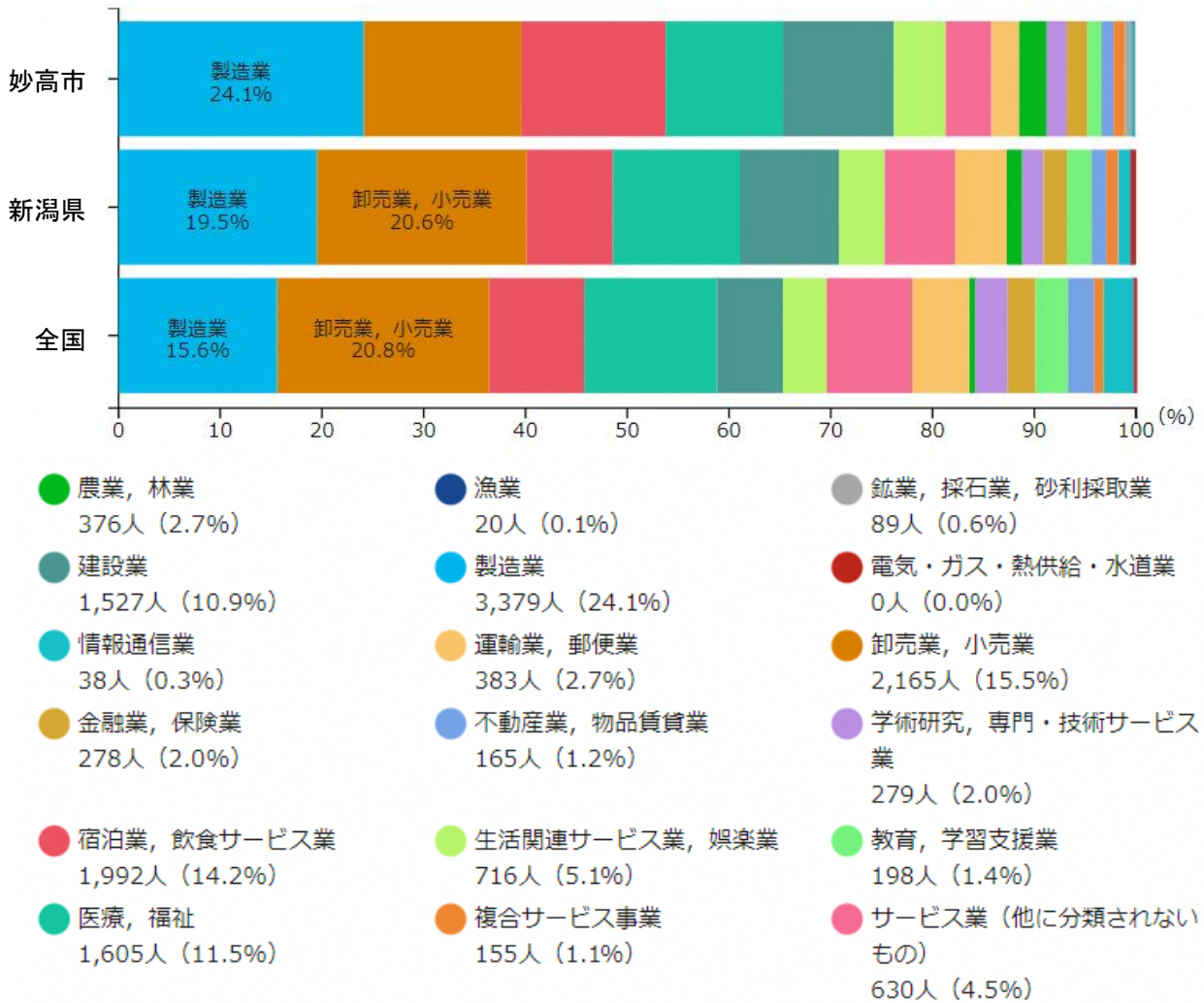


図 従業者数の内訳

【出典】総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工
(地域経済分析システム RESAS)

(3) 新規起業数

● 新規起業数は、増加傾向。業種別では、宿泊業・飲食サービス業が多い。

[データ解説]

- ・市内での新規起業数（平成27年度からの累計）は、補助金等の活用により創業した事業者が多かったことから、年々増加しています。
- ・業種別では、宿泊業・飲食サービス業が多くなっています。

市内での新規起業数（平成27年度からの累計）

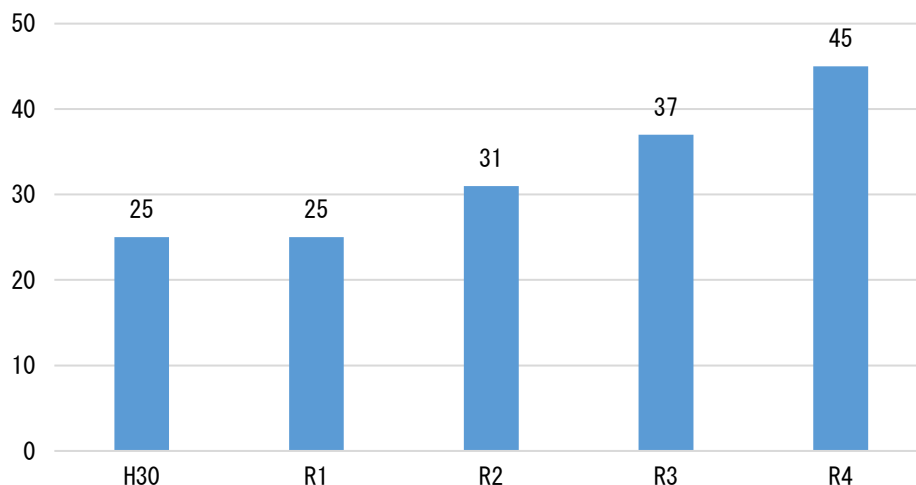


図 市内での新規起業数（H27～R4）

資料：妙高市調べ

新規創業者業種別内訳（H27～R4）

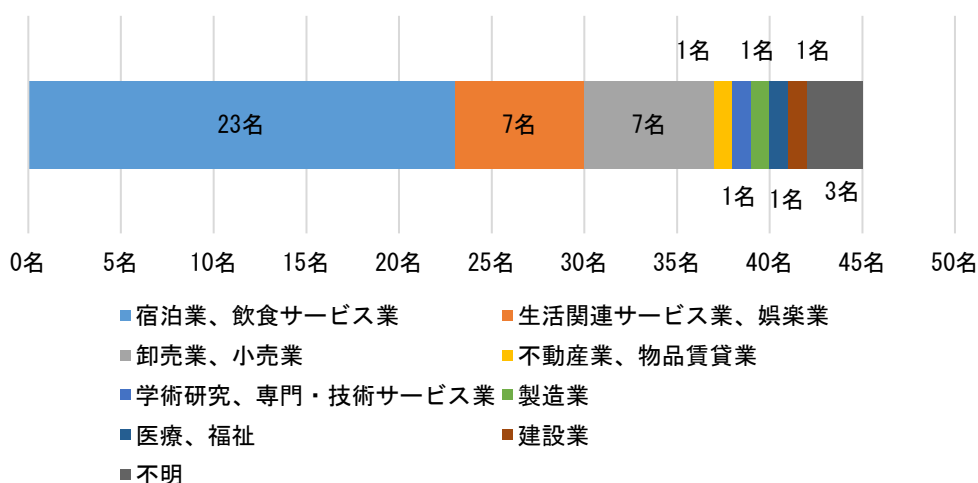


図 新規創業者業種別内訳（H27～R4）

資料：妙高市調べ

(4) 労働生産性

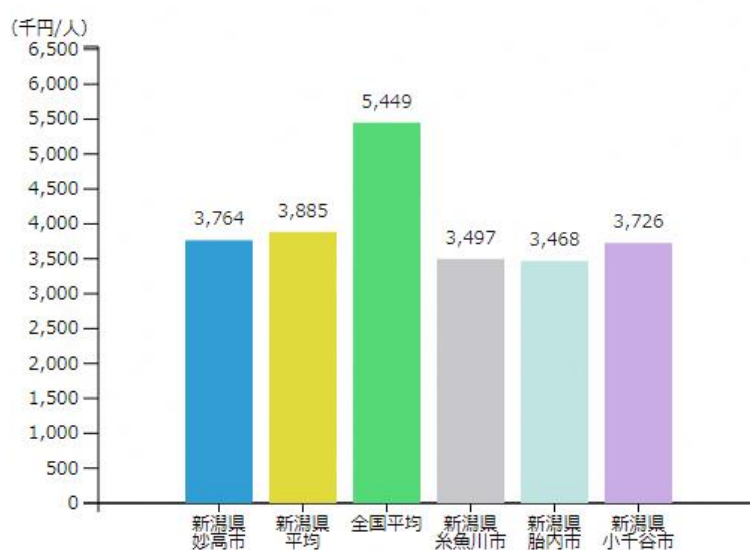
●労働生産性は、県平均レベルだが、全国平均を大きく下回っている。

[データ解説]

- ・労働生産性は、県平均レベルとなっていますが、全国平均と比べると大きく下回っています。
- ・人口規模の近い県内類似都市との比較でも、ほぼ同じレベルとなっています。
- ・「製造業」「宿泊業、飲食サービス業」を中心とした労働生産性の高まりを背景に、労働生産性が高まる傾向がみられます。

労働生産性（企業単位） 2016年

産業：すべての大分類 > すべての中分類



労働生産性（企業単位）の推移

産業：すべての大分類 > すべての中分類

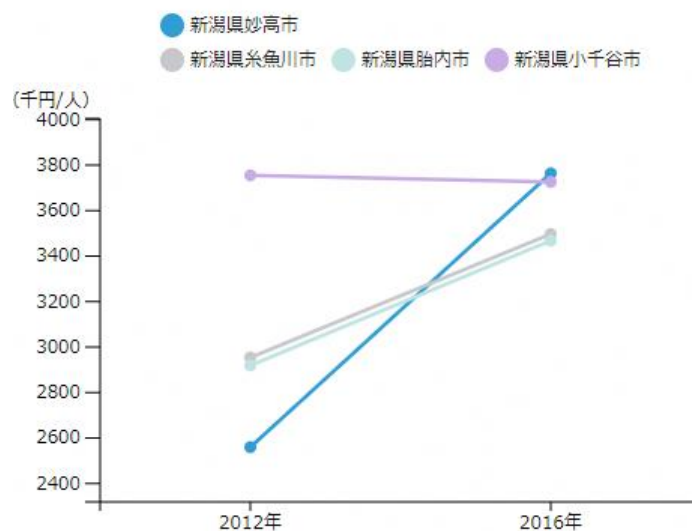


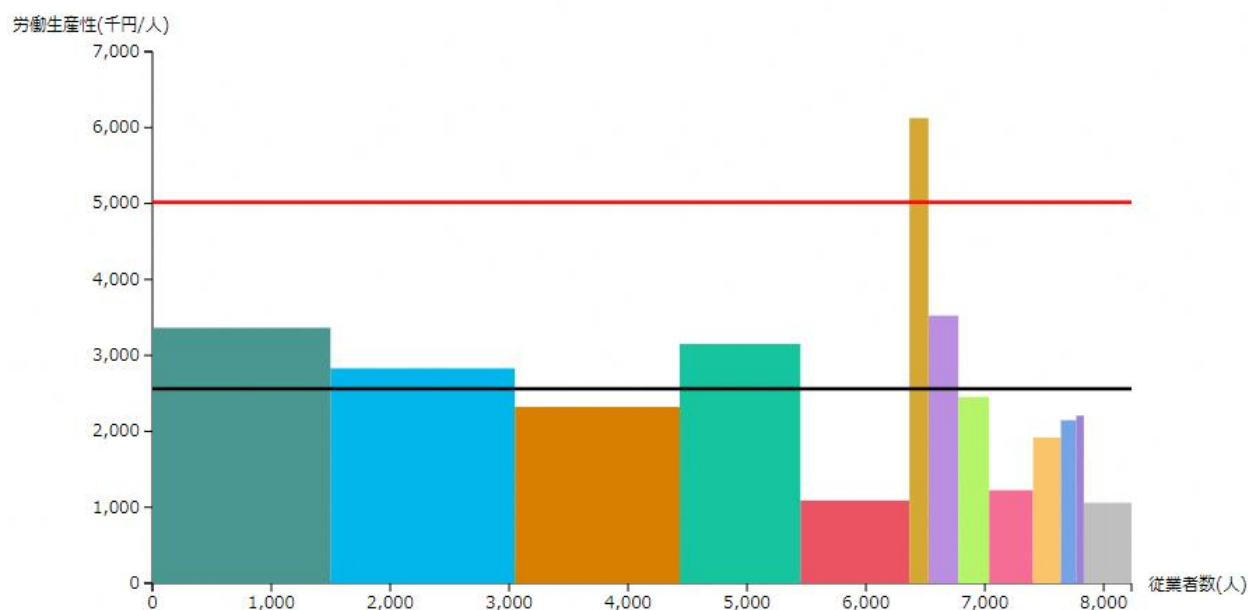
図 労働生産性

【出典】総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工（地域経済分析システム RESAS）

新潟県妙高市

2012年

— 全国の平均労働生産性 : 5,017.06 (千円/人)
 — 妙高市の平均労働生産性 : 2,560.48 (千円/人)



産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
建設業	3,363.39	1,497	5,035
製造業	2,829.14	1,551	4,388
卸売業, 小売業	2,322.28	1,387	3,221
医療, 福祉	3,150.89	1,014	3,195
宿泊業, 飲食サービス業	1,089.42	917	999
金融業, 保険業	6,125.00	160	980
学術研究, 専門・技術サービス業	3,523.81	252	888
生活関連サービス業, 娯楽業	2,453.49	258	633

産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
サービス業 (他に分類されないもの)	1,224.32	370	453
運輸業, 郵便業	1,918.80	234	449
不動産業, 物品賃貸業	2,146.15	130	279
電気・ガス・熱供給・水道業	0.00	0	0
鉱業, 採石業, 砂利採取業	0.00	0	0
その他	2,206.35	63	139
秘匿・格付け不能等	1,059.85	401	425

「その他」に含まれる産業の内訳

産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
教育, 学習支援業	2,363.64	55	130
複合サービス事業	1,000.00	8	8

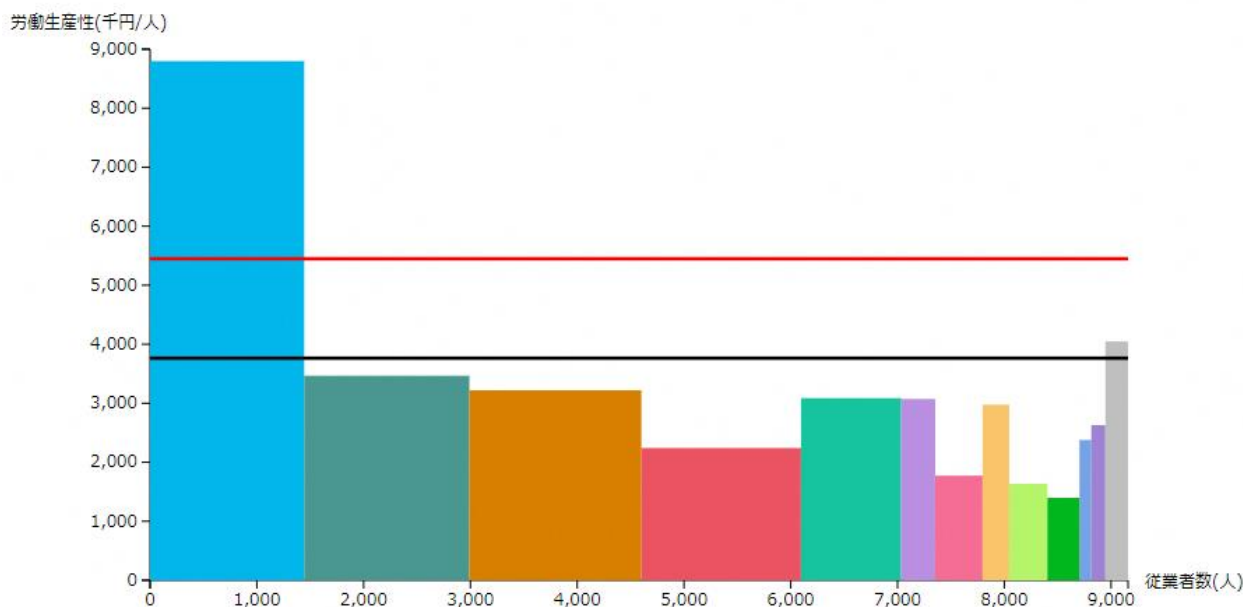
図 産業別労働生産性 (2012年)

【出典】総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工 (地域経済分析システム RESAS)

新潟県妙高市

2016年

— 全国の平均労働生産性 : 5,448.97 (千円/人)
 — 妙高市の平均労働生産性 : 3,763.51 (千円/人)



産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
製造業	8,797.64	1,443	12,695
建設業	3,466.06	1,547	5,362
卸売業, 小売業	3,220.36	1,611	5,188
宿泊業, 飲食サービス業	2,240.80	1,495	3,350
医療, 福祉	3,086.35	938	2,895
学術研究, 専門・技術サービス業	3,072.10	319	980
サービス業 (他に分類されないもの)	1,772.52	444	787
運輸業, 郵便業	2,975.90	249	741

産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
生活関連サービス業, 娯楽業	1,634.08	358	585
農業, 林業	1,396.67	300	419
不動産業, 物品賃貸業	2,378.38	111	264
電気・ガス・熱供給・水道業	0.00	0	0
漁業	0.00	0	0
その他	2,628.79	132	347
秘匿・格付け不能等	4,047.17	212	858

「その他」に含まれる産業の内訳

産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
情報通信業	3,228.07	57	184
教育, 学習支援業	2,363.64	66	156
複合サービス事業	777.78	9	7

図 産業別労働生産性 (2016年)

【出典】総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工 (地域経済分析システム RESAS)

(5) 雇用の状況

- 正規雇用者比率は、男女とも県平均を大きく下回っており、完全失業率も県平均を上回っている。

[データ解説]

- ・ 県下市町村平均との比較によると、本市の正規雇用者比率は、男女とも県平均を大きく下回っています。
- ・ 完全失業率は、県平均を上回っており、本市の経済・雇用を取り巻く環境が厳しいことが伺えます。

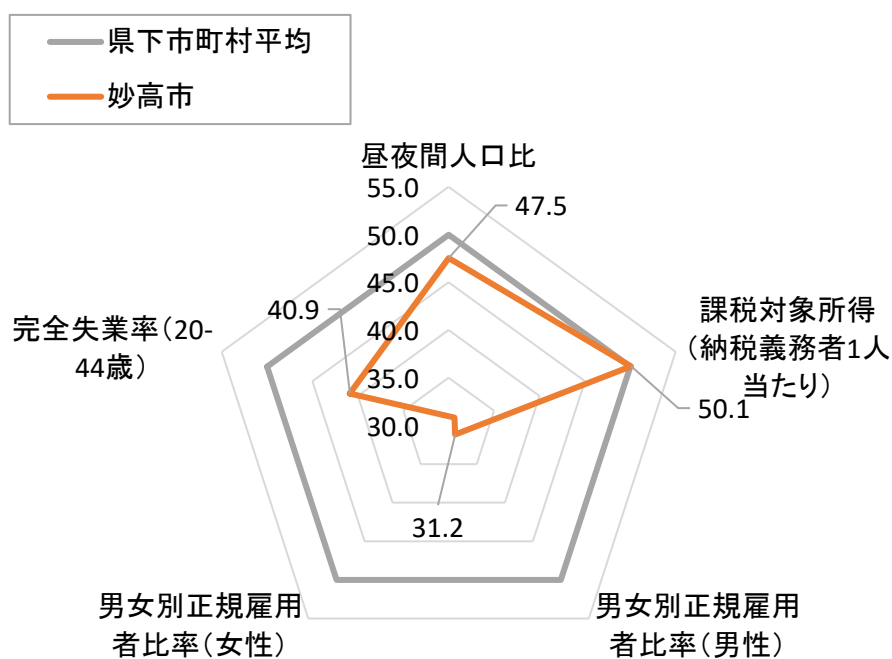


図 雇用の状況

資料：少子化対策地域評価ツール（令和2年3月策定、令和5年3月改訂（第4版））
※完全失業率は逆向きの偏差値としている（完全失業率が低いほど偏差値は高い）

1-4 観光産業

(1) 年間観光消費額

●観光消費額、一人当り観光消費額ともに、コロナ禍前の水準まで回復。

[データ解説]

- ・観光消費額、令和1年時点の18,997百万円から令和3年時点の8,987百万円まで大幅に減少しましたが、令和4年時点で18,038百万円まで回復しています。
- ・一人当り観光消費額は、令和3年に一旦落ち込んだものの、令和4年にはコロナ禍前の水準を上回る3,896円/人まで回復しています。

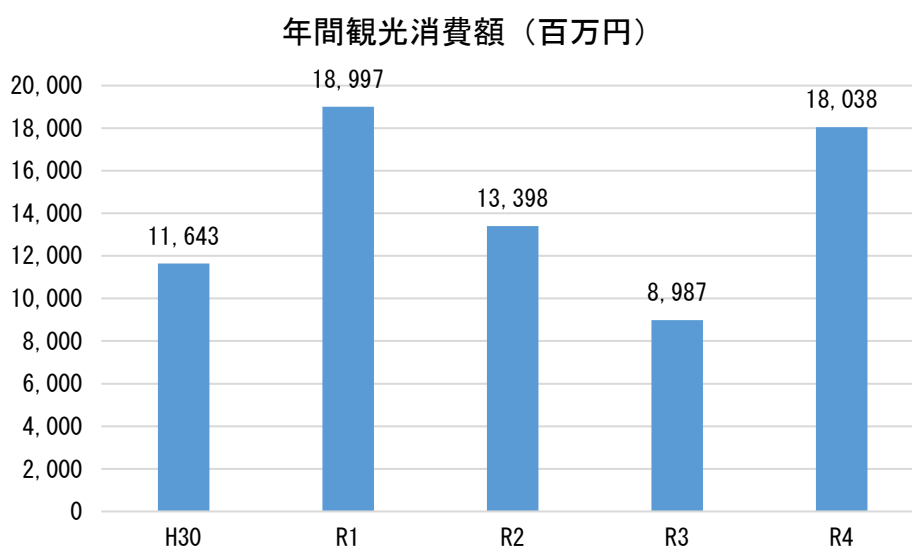


図 年間観光消費額の推移

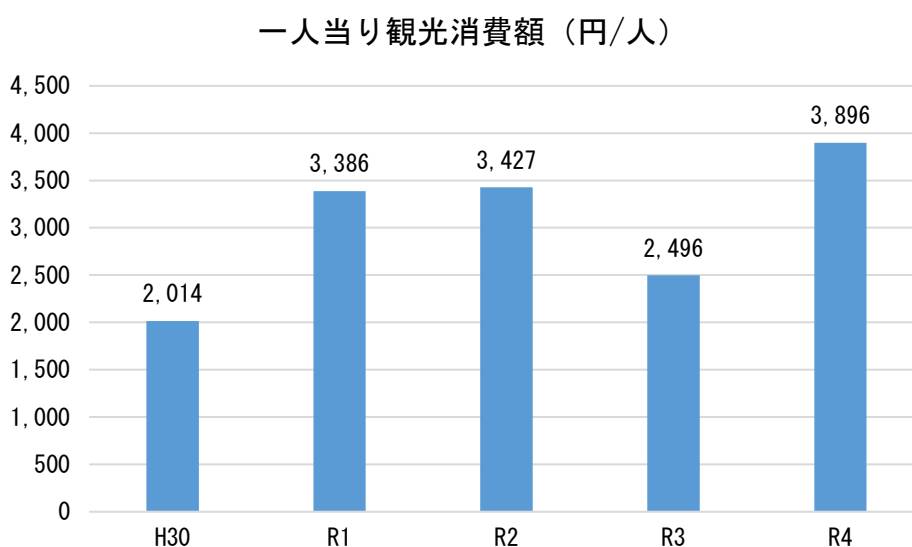


図 一人当り観光消費額の推移

資料：妙高市調べ

(2) 年間観光入込客数

●年間観光入込客数は、コロナ禍の水準まで回復しつつある。

[データ解説]

- ・平成30年時点で578万人だった年間観光入込客数は、コロナ禍の影響により大幅に減少し、令和3年時点で360万人まで落ち込んでいましたが、国内観光客の回復を背景に、令和4年時点で463万人まで回復しています。

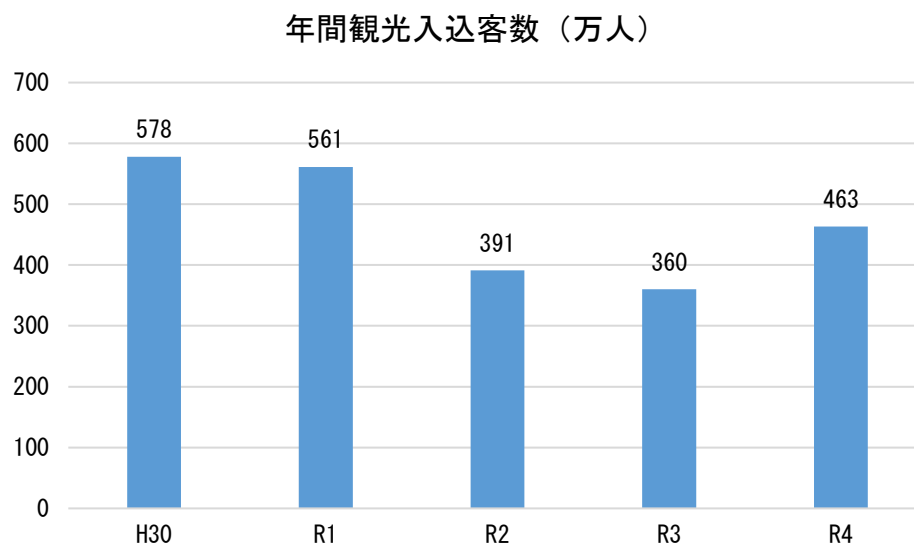


図 年間観光入込客数の推移

資料：妙高市調べ

(3) 延べ宿泊者数（宿泊日数）

● 宿泊日数は、1泊のケースが増加する一方で、2泊以上は横ばい傾向。

[データ解説]

- ・ 延べ宿泊者数は、コロナ禍の影響により大幅に減少しましたが、回復傾向がみられます。
- ・ 宿泊日数は、1泊のケースが増加する一方で、2泊以上のケースは横ばいとなっています。

延べ宿泊者数（総数）の推移

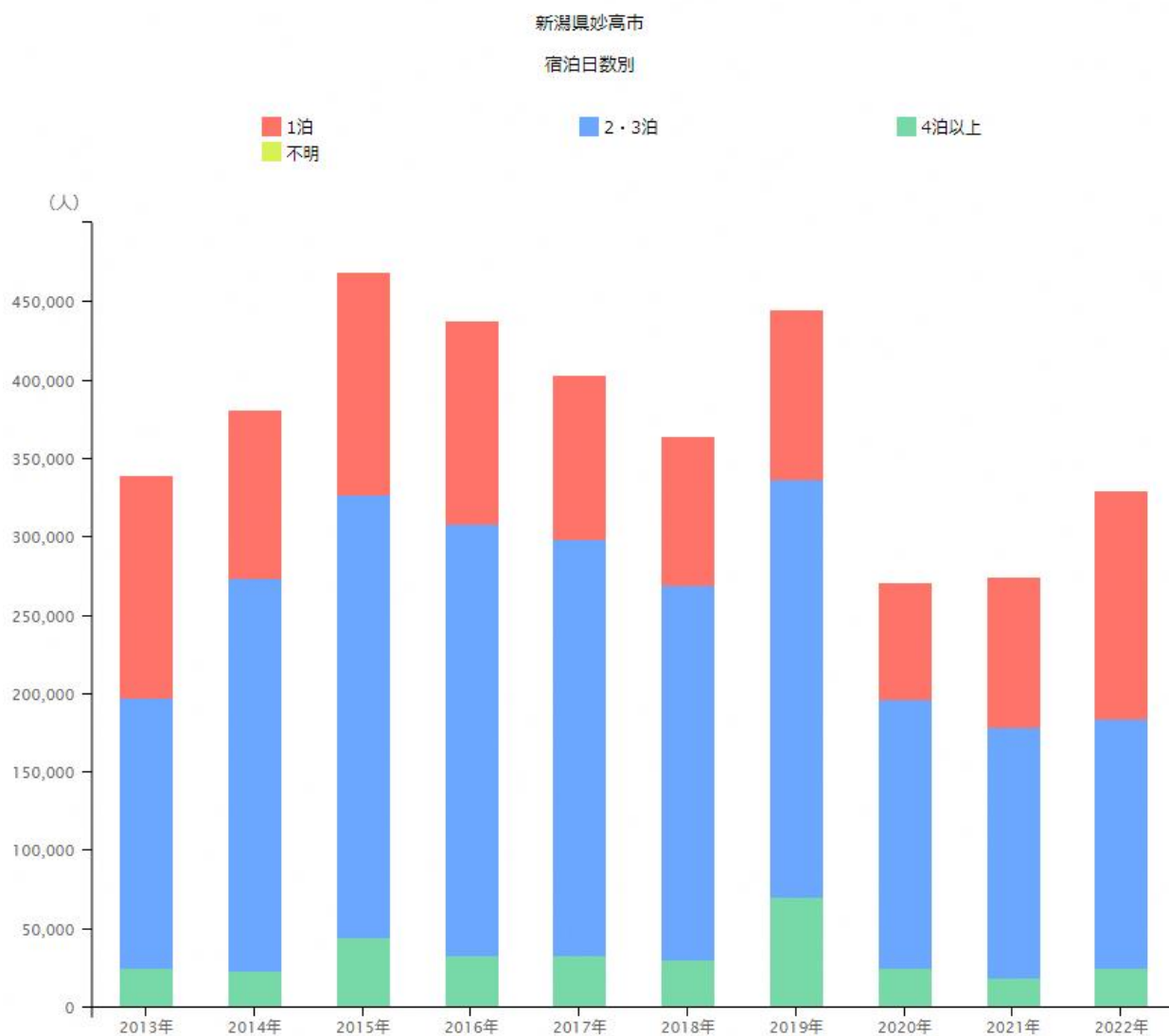


図 宿泊日数別延べ宿泊者数の推移

【出典】観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」
(地域経済分析システム RESAS)

(4) 延べ宿泊者数（他地域との比較）

- 上越地域の3市の中では、宿泊者数が最も多い。
- 妙高市の宿泊者数は、白馬村の約6割の規模となっている。

[データ解説]

- ・上越地域の3市の中では、宿泊者数が最も多くなっています。
- ・妙高市と同じくスキーリゾートとして有名な観光地を有する白馬村の宿泊者数と比較すると、約6割程度の宿泊者数となっています。

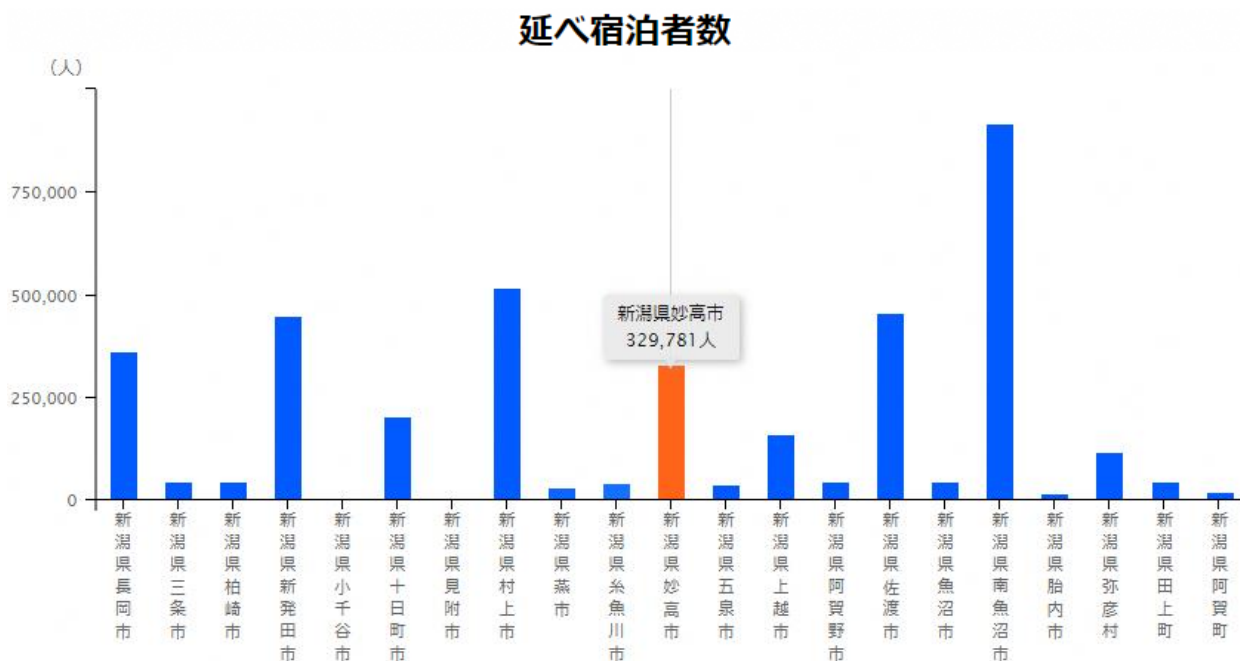


図 宿泊者数の県内他都市との比較 (2022年)

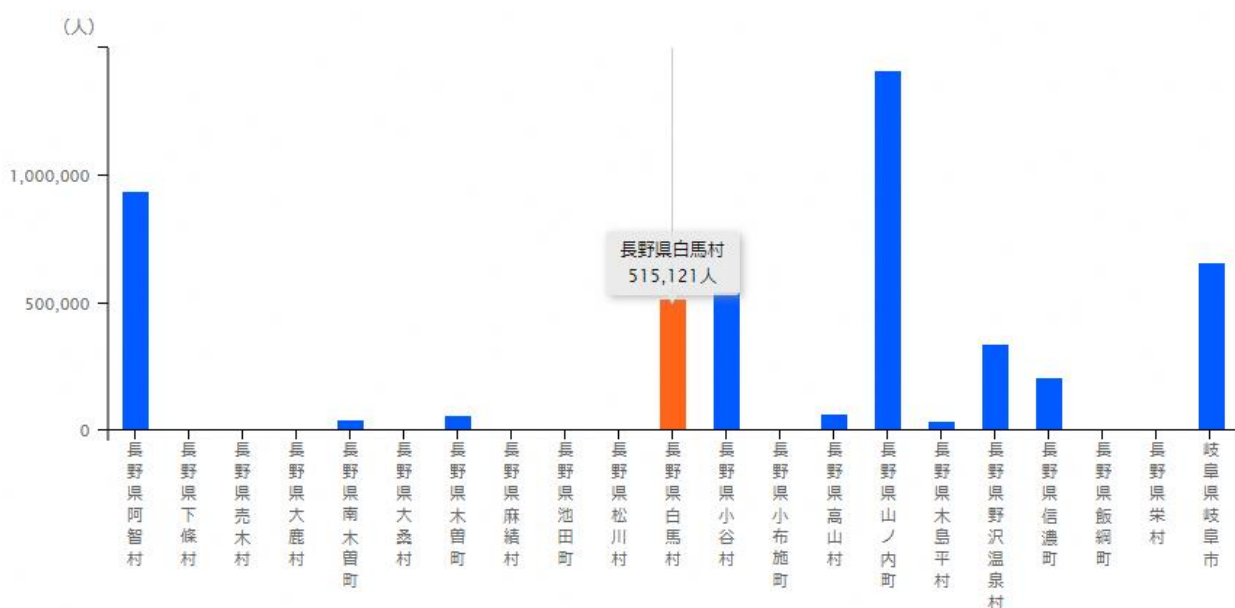


図 宿泊者数の長野県内の他都市との比較 (2022年)

【出典】観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」
(地域経済分析システム RESAS)

(5) インバウンドの入込 (妙高市)

●コロナ禍の影響で大幅に減少したインバウンド需要は、回復傾向が見られる。

[データ解説]

- ・令和4年の年間の妙高市の宿泊施設全体の延べ宿泊者数は474,331人泊となり、前年から21.3%増加しました。
- ・そのうち、日本人の延べ宿泊者数は471,636人泊となり、前年から21.1%増加しました。また、外国人の延べ宿泊者数は2,695人泊となり、前年から63.5%の増加となりました。
- ・国別では、オーストラリアが最も多くなっています。

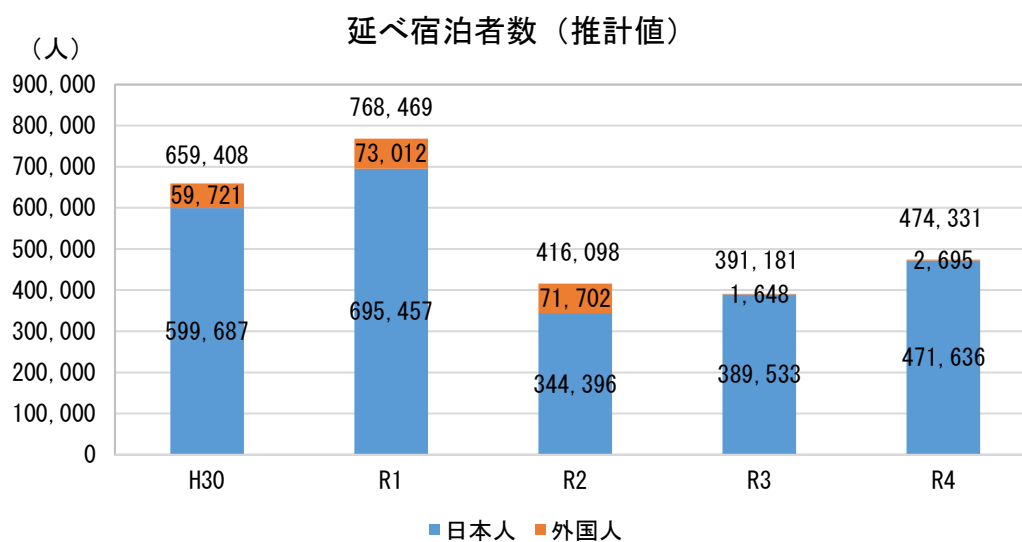


図 延べ宿泊者数の推移

【出典】令和4年度 妙高市宿泊統計調査実施報告書

外国人延べ宿泊者数（国・地域別：推計値）

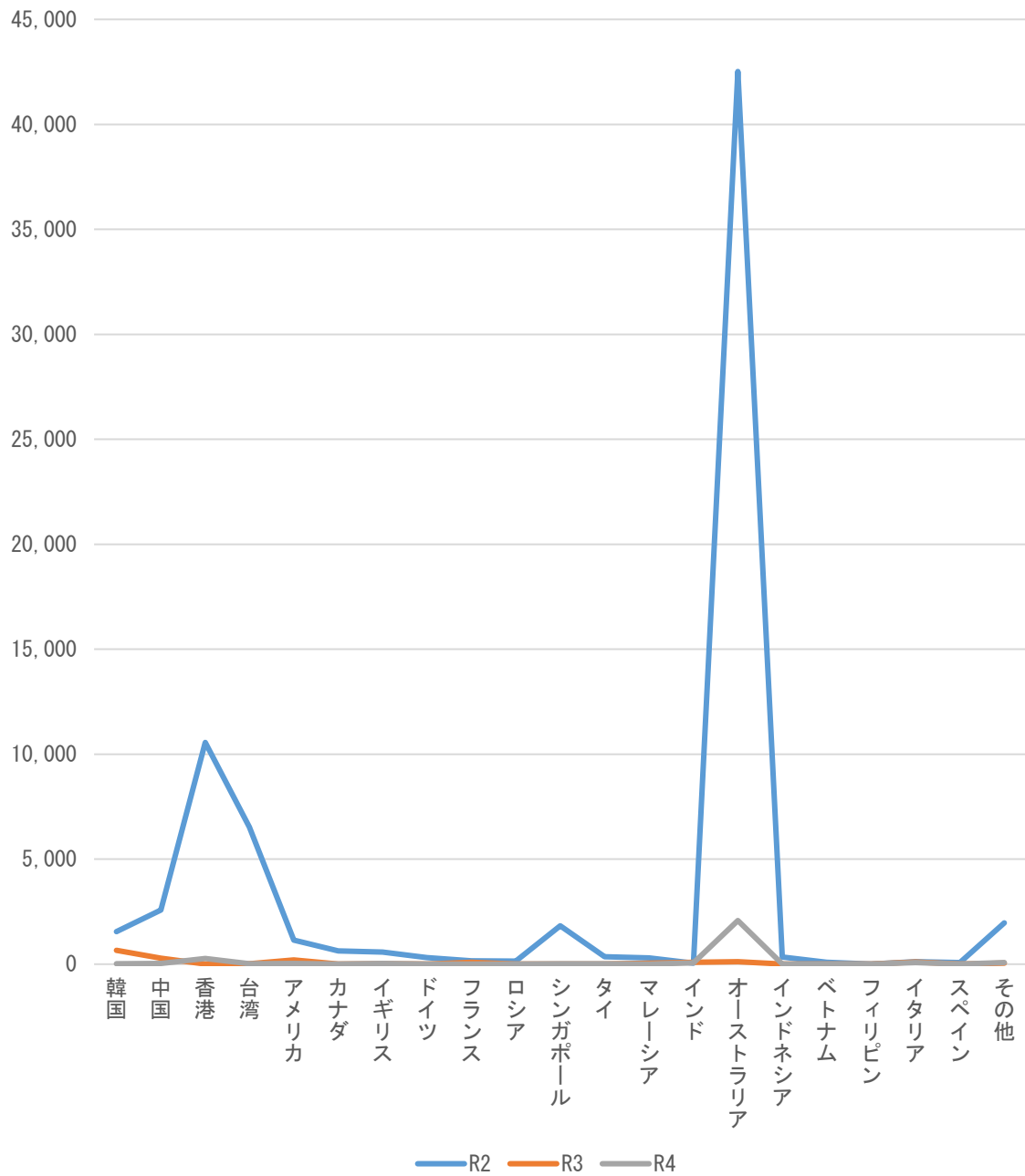


図 延べ宿泊者数の推移

【出典】妙高市宿泊統計調査実施報告書

(6) インバウンドの消費額（新潟県）

●新潟県の外国人訪問客の部門別消費額は、宿泊・飲食の割合が高い。

[データ解説]

- ・新潟県内における外国人訪問客によるクレジットカードの消費額は、全国と比較して宿泊・飲食の占める割合が高くなっています。

部門別消費額の構成割合

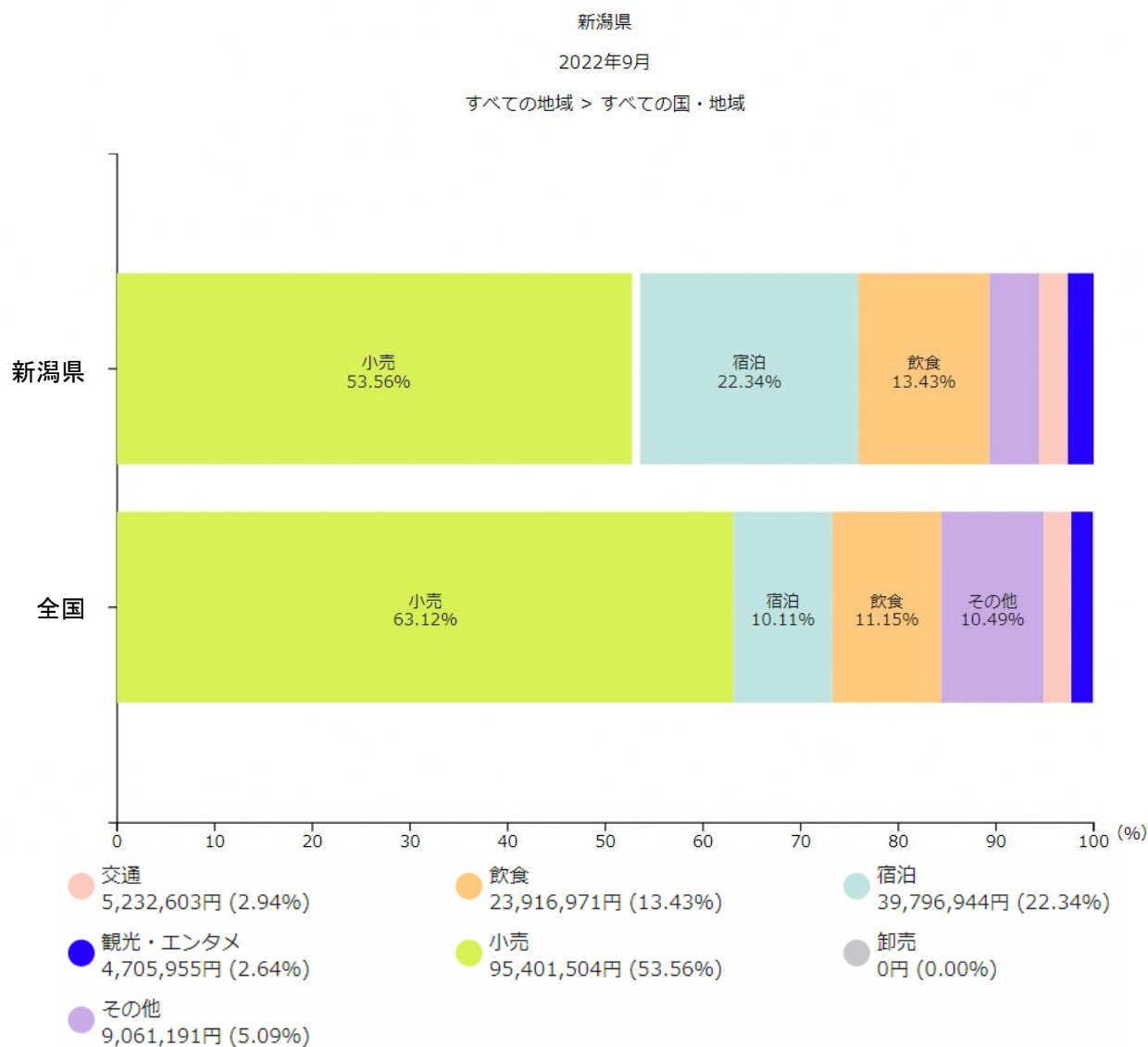


図 部門別消費額の構成割合
【出典】ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社のカードデータを再編加工
(地域経済分析システム RESAS)

1-5 コロナ禍による社会変化

●コロナ禍によりデジタルサービスの利用が拡大し、ビジネスやサービス提供の方法が進化。

- ・コロナ禍によって、リモートワークやオンライン教育などの需要が増加し、テクノロジーの進化が加速しました。
- ・オンラインコミュニケーションツール、クラウドサービス、デジタル医療技術など、様々な分野で新たなイノベーションが生まれ、デジタルサービスの利用が拡大し、ビジネスやサービス提供の方法が進化しました。

●地方への移動・移住の需要が増加。

- ・コロナ禍によって多くの企業や組織がリモートワークを導入したことから、より好みの場所で生活することが容易になった結果、住む場所にとらわれない働き方が広まりました。
- ・都市部における感染リスクや密集を避けるため、より良い住環境や自然に近い生活を求める動きが増え、都市から郊外や地方への移住を選択するケースが増加しました。
- ・リフレッシュやリラックスを求める人々が増え、リゾート地や自然豊かな地域への移動が増えた結果、週末や休暇に利用する第二の住居に対する需要が増えました。

●地域のイベントや祭り、集会の中止や延期により、地域コミュニティが弱体化。

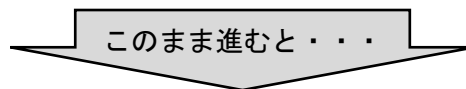
●関係人口など、新たな人口流出による地域活性化の事例が増加。

- ・社会的距離の要請などにより、人々の交流が制約され、地域のイベントや祭り、集会が中止や延期されることが多くなった結果、地域社会の結束や一体感が低下するなど、地域コミュニティが弱体化するケースが見られました。
- ・一方で、地方への移住や第二の住居需要の増加により、地域への新たな人口流入によって、地元産業や地域経済が活気づいたケースも見られました。

2. 将来のリスクに関する考察（マイナス面）

【妙高市の弱みなど】

人口・世帯数	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少が加速。特に郊外部の地域で減少幅が大きい。 ●世帯数は緩やかな減少傾向。 ●年少人口や生産年齢人口が大幅に減少する一方で、老年人口が大幅に増加。 ●自然減・社会減が継続。特に自然減による減少幅が年々拡大。 ●年代別では、15～29歳にかけての転出超過が顕著。 ●転入・転出の理由は、10代は学業や家族、20代は職業が多い。 ●転出先は、新潟県内（上越圏）や関東が多い。 ●若者回復率はマイナス傾向で、男性より女性の方が低い傾向。
結婚・出産・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ●未婚率は、男女とも上昇傾向。特に女性の上昇幅が大きい。 ●平均初婚年齢は、晩婚化の傾向が継続。 ●未婚率は、県平均を上回っており、特に男性の未婚率が高い。 ●妊娠等に関する相談支援の面でのオンライン活用、産前産後における支援に取り組む自治体は少ない。 ●医療・保健環境や働き方・男女共同参画の面で課題がある。
地域産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ●企業数・事業所数・従業者数は、いずれも減少傾向。 ●労働生産性は、県平均レベルだが、全国平均を大きく下回っている。 ●正規雇用者比率は、男女とも県平均を大きく下回っており、完全失業率も高い。
コロナ禍による社会変化	<ul style="list-style-type: none"> ●地域のイベントや祭り、集会の中止や延期により、地域コミュニティが弱体化。



【将来のリスクに関する考察】

【リスク1】労働力不足による生産性低下、非正規雇用の増加、地域産業の空洞化

少子高齢化により労働人口が減少すると、企業は適切な労働力を確保することが難しくなり、生産性低下などを背景に、地域産業の空洞化が進む可能性があります。

労働力不足により企業が正規の雇用を行いにくなると、非正規雇用やパートタイム労働の増加が進むなど、地域の雇用状況が悪化する可能性があります。

【リスク2】若年層を中心とした人材の流出、地域の担い手不足の深刻化

若年層の転出が進めば、有能な人材が他の地域へ流出するケースが増加する可能性があります。これが地域の担い手不足の深刻化を招き、地域の持続的な発展に支障をきたす可能性があります。

【リスク3】未婚率の上昇と晩婚による出生率の低下、人口減少、少子高齢化の加速

未婚率の上昇と晩婚化が進めば、出生率が低下し、長期的に人口減少、少子高齢化を加速させる要因になる可能性があります。また、若年層の減少によって学校の生徒数が減り、学校の

閉鎖や統廃合が進む可能性が高まります。

【リスク4】人口減少による内需低迷等を背景とした地域経済、地域社会の衰退

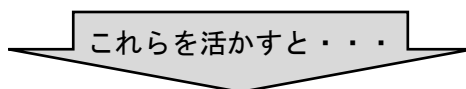
人口減少によって内需が低迷すれば、地域経済に悪影響を及ぼす可能性があります。

また、人口減少が進むと、地域社会においても様々な問題が生じます。商業施設や公共サービスの減少、地域の活性化の停滞、地域コミュニティの弱体化などが考えられます。

3. 将来の可能性に関する考察（プラス面）

【妙高市の強みなど】

人口・世帯数	<ul style="list-style-type: none"> ● 転入元は、新潟県内（上越圏）や関東が多い。
結婚・出産・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ● 合計特殊出生率は、県平均より高く、特に第2子、第3子以降が高い。 ● 賑わい・生活環境や家族・住環境は充実している。
地域産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域産業を牽引しているのは、製造業や宿泊業・飲食サービス業。 ● 特に、電子部品・デバイス・電子回路製造業や宿泊業の稼ぐ力が強い。 ● 新規起業数は、増加傾向。業種別では、宿泊業・飲食サービス業が多い。
観光産業	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光消費額、一人当り観光消費額ともに、コロナ禍前の水準まで回復。 ● 年間観光入込客数は、コロナ禍の水準まで回復しつつある。 ● 宿泊日数は、1泊のケースが増加する一方で、2泊以上は横ばい傾向。 ● 上越地域の3市の中では、宿泊者数が最も多い。 ● 妙高市の宿泊者数は、白馬村の約6割の規模となっている。 ● コロナ禍の影響で大幅に減少したインバウンド需要は、回復傾向が見られる。 ● 新潟県の外国人訪問客の部門別消費額は、宿泊・飲食の割合が高い。
コロナ禍による社会変化	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍によりデジタルサービスの利用が拡大し、ビジネスやサービス提供の方法が進化。 ● 地方への移動・移住の需要が増加。 ● 関係人口など、新たな人口流出による地域活性化の事例が増加。



【将来の可能性に関する考察】

【可能性1】観光産業を起爆剤とした地元産業や経済の回復、雇用状況の改善

観光産業は、コロナ禍を経て回復傾向に転じており、インバウンド需要の段階的な復活を背景に、さらに回復傾向が加速することが予想されます。これら観光産業の回復を起爆剤として、地域産業や経済の回復、雇用状況の改善につながっていくことが期待されます。

その他産業についても、既存産業の高付加価値化や新規産業の育成・誘致を進めることで、産業振興や雇用状況の改善につながっていくことが期待されます。

【可能性2】地方への移動・移住の需要の高まりを背景とした新規人口の増加

コロナ禍によるリモートワークの普及などを背景に、リゾート地や自然豊かな地域への移動・移住などの需要が高まっており、妙高山麓等の地域資源を活かしたPRや多様な移住・定住支援策を進めることで、新たな人口の増加につながっていくことが期待されます。

【可能性3】結婚・出産・子育てを支える経済的な安定確保

結婚・出産については多様な要因がありますが、一般的な傾向として、経済的な不安定さが、結婚や出産に踏み切る障害になるケースがあると考えられます。

地域の経済回復、雇用状況の改善が進めば、結婚・出産・子育てを支える経済的な安定確保につながっていくことが期待されます。

【可能性4】新しい人口の流入増加による地域コミュニティの回復、活性化

地方への移動・移住の需要の高まりを背景に、観光客やセカンドハウス所有者などの関係人口は、新たな地域の担い手としても期待されます。

移住者や関係人口などの流入増加が市内各地で進み、地域の住民との交流を通じて新たな地域コミュニティが形成されることで、地域のニーズや課題に対して共通の理解が生まれ、地域コミュニティの回復、活性化につながっていくことが期待されます。